

隊ハ最モ勇敢ナル騎兵攻撃ニ由テ救援セラレタリ
 未タ遂上縦隊ニ在ルフヲルリ旅團ノ既ニ Monte Orcoi ヨリ Mongabia ニ接近
 シタルヲ見タル Sicilian 槍騎兵聯隊付騎兵大尉男爵ベヒトルツハイムハ現
 存セル其騎兵中隊ノ三小隊ト共ニ高地ヲ過キビザ旅團ヲ貫キ急襲兵ノ途
 上縦隊ニ侵入ス茲ニ又諸參謀官ト共ニ先頭ニ於テ騎行セル伊國將官チエ
 ラレ及ドーハ其馬頭ヲ後方ニ轉回シ亦直接ニ其後方ニ續行セル二火砲モ
 同シク退却シ Davoujagen ニ於テ自己ノ軍隊ニ撞突シ大ニ混雜ヲ生セシム槍
 騎兵ハ將官ノ護衛兵ヲ追撃シ及ヒ之ヲ潰亂ス而シテ敵ノ旅團ノ大部ヲ横
 行シ火砲二門ヲ略取セリ然レトモ之ヲ安全ニ運搬スルヲ得ザリキ
 伊國ノ兩將官ハ負傷ヲ被リ漸ク命ヲ助カルヲ得タリ
 フヲルリ旅團ニ於テハ急襲攻撃ノ爲メニ不意ノ驚愕ヲ生起シ先頭部隊ハ
 道路ノ溝中ニ投入シテ射撃シ以テ槍騎兵ニ著キ損害ヲ加フ然レトモ速カ

ニ退避シ尙三大隊ヲ破レリ該大隊ハ散亂シテ一部ハ Orosi ニ向ヒ一部ハ遙
 カニ其南方ニ向テ逃走セリ
 敵ノ旅團ノ五大隊中唯一大隊ノミ集合シテ停止セリ
 然レトモ亦槍騎兵ハ殆ント撲滅セリ攻撃ノ後直チニ其兵力ヲ數フルニ僅
 カニ騎卒十七名アルノミ其後チ眞ノ損害ヲ檢スルニ將校二名兵士八十四
 名及ヒ馬匹七十九頭ヲ失ヘリ其兵力ノ數ハ殆ント百名以上ヲ算シタルモ
 ノトス

埃國新銳兵ノ到着シタル爲メ此翼面ニ生シタル變動ハ元來斯ノ如キ顯著
 ナル騎兵ノ動作ニ由リテ埃國軍隊ノ爲メ有利トナリタリ

第三十章

千八百六十六年七月二十七日 Langensalza 大戦ノ騎兵攻撃

Hannover 軍ハ普軍ノタメ其道路ヲ遮斷サル、ニ到ル迄 ^{Langensalza} Langensalzaニ在テ南
 方ニ向テ行フヘキ開進ヲ遲延セリ然ルニ Hannover 兵ハ北方ニ向テ退避セ
 シコトヲ企ツルトノ誤報ニ由リテ普國將官フリースハ其兵八千七
 百人ヲ以テ ^{Goslar} Goslarヨリ前進シ通過至難ナル ^{Vinstedt} Vinstedtニ由テ掩護サレタル敵
 兵ヲ攻撃セリ、Hannover 軍ハ殆ント二倍ノ優勢ナルカ故ニ普軍ハ戦利アラ
 スシテ午後三時退却ヲ爲サ、ルヘカラサルニ至レリ(第四十一略圖参照)
^{Badewalden} Badewaldenハ最後ニ至ル迄擲弾兵第十一聯隊第一大隊ノ外第廿五聯隊ノ
 諸中隊 ^{Potzdamm} Potzdamm 後備軍大隊及補充一中隊ヨリ成ル所ノ其守備兵ニ由テ固
 守サレタリ、然リ而シテ三方ノ敵ヨリ攻撃ヲ被リ四時ニ至ルマテ尙之ヲ固
 守シ、四時ニ至リ初メテ到達シタル命令ニ由テ茲ヲ撤去セリ、數時間ノ戦闘
 ニ由テ隊伍及ヒ順序ノ多少亂レタル普國歩兵カ原野ニ露出シタルトキ此
 歩兵諸部隊ハ來襲セル敵ノ女王驃騎兵聯隊ニ由テ驅逐サレタリ然レモ第

退却サレタ
騎兵攻撃

十一聯隊ノ第一大隊ヲ核心トシ再ヒ隊伍ヲ整頓シ二縱隊ヲ作リテ再ヒ行
 進ヲ始ムルヲ得タリ此時敵ノ歩兵ハ追躡セザリキ、而シテ新タニ Hannover
 ノ騎兵兩側ヨリ現出シタリシトキハ已ニ兩縱隊ハ ^{Siechenhof} Siechenhofニ到達セリ即
 チ北方ヨリ敵ノ龍騎兵及胸甲騎兵聯隊近迫シ南方ニハ ^{Candridge} Candridge 龍騎兵已
 ニ迂回シテ退却線ヲ遮斷セントス、茲ニ於テ普國歩兵ハ方陣ヲ形成ス
 龍騎兵聯隊ハ西方ノ方陣ニ對進シ騎兵第二中隊ハ正面ニ向ヒ第三中隊ハ
 東方ノ端隅ニ向テ前進シ、第一中隊ハ右方後ニ續行ス茲ニ歩兵ノ確實ナル
 射撃ヲ蒙リ、第三騎兵中隊ハ左方ニ退去シ他ノ兩中隊ハ右方ニ退却ス馬匹
 二百三十頭ノ兵力中損傷ヲ被リタルハ將校二名卒十六名馬匹四十二頭ナ
 東方方陣ノ司令官中佐 ^{パルレ} パルレハ敵ヨリ降服ヲ要求サレタリ然レトモ此請
 求ヲ拒絕シタルノ後チ胸甲騎兵ハ攻撃ヲ爲セリ騎兵第四中隊ハ斜方向ニ

於テ北方ノ側面ニ當リ騎兵第一中隊ハ西方ノ側面ニ當リ騎兵第三中隊ハ豫備軍ニ於テ續行ス然レトモ襲撃ニ與ラス
 大隊ハ龍騎兵第二中隊カ南方ヨリ最モ勇敢ニ攻撃シ來リシトキ其勢力ヲ回復スルニ漸ク一瞬間ヲ有セシノミ全計將校五名及兵士三分一ノ損害ヲ被リ騎兵中隊ハ殆ント方陣ヲ突貫ス然レモ其大部分ハ再ヒ結合セリ而シテ其間更ニ集合シタル胸甲騎兵兩中隊ノ第二回ノ攻撃ヲ擊退ス唯二三ノ騎卒侵入スルヲ得タルノミ負傷若クハ落馬セル將校三名卒五十二名ハ捕虜トナレリ
 凡テ是等ノ三場合ニ在テ中佐バルレハ近距離ニ於テ齊發ヲ行フ而シテ胸甲騎兵兩中隊ハ將校四名卒十九名馬匹四十頭ヲ失ヘリ
 軍ニ在テハ更ニ騎兵四中隊及騎砲兵二門ヲ戰鬪ニ増加セシト雖トモ普國兩縱隊ハ之ニ係ラス退却スルヲ得タリ而シテ敵ノ騎兵十四中隊

ハ更ニ我ヲ追撃スルノ勇氣ナカリシ敵ノ砲兵射撃ハ直接ニハ榴彈ノ一個モ的中セザリシト雖モ其碎片ノ爲メニ損傷ヲ蒙ルコト甚カリシ他ハ此日ノ炎熱ノタメニ疲勞シ或ハ倒レ或ハ捕虜トナレリ若シ此ノ如クシテ損傷毫モアラザリセハ Henningseben ノ南方ニ於テ兩縱隊ハ他ノ普國ノ軍隊ニ達セシナラン

第三十一章

千八百六十六年七月四日 Neila ノ戰鬪第四十二略圖參照

普國 Main 軍ノ Eisenach ヨリ Fulda ニ向テ行進スル間ゴエーベン師團ハ七月四日ニ前日已ニ監視シタル Bayern 部隊ニ對シ Dernbach ヲ渡リ急激ナル突撃ヲ爲シ而シテ本軍ニ續行スヘキ任務ヲ受ク Bayern ノ全軍團ハ實際 Kalten-Nordheim 附近ニ集合セリト雖トモ普軍ニ在テハ同シク Fulda ニ行進セ

リト判断シタル ^{バイエレン}Bayern ノ側面掩護兵ノ其前方ニ有セリト固信セリ
 前上ノ任務ヲ實行センカ爲メ ^{デアムバハ}Dernbach ヨリ通スルニ街道上ニ於テ ^{ウーゼンタ}Wiesent-
^{ハル}hal-Rosedorf 若クハ ^{ツェル}Zella ノ諸戦團ヲナスニ至レリ蓋シ ^{ツェル}Zella ニ於テハ敵ノ二師
 團ノ先頭已ニ現出スルニ至レリ
 南ノ街道ニハツオルレル師團ハ少時唯々三大隊三分一ノ兵力ナルシユワ
 イツエル旅團及ヒ騎兵三中队及火炮二門ヲ以テ ^{ナイドハルツェン}Neidhartshausen 及 ^{ツェル}Zella 陣ヲ
 占領ス然レトモ他ノリベアウビル旅團ハ(五大隊騎兵及砲兵ノ殘兵ト
 共ニ騎兵一中隊火炮十四門) ^{フランク}Frankbach 附近街道ノ兩側ニ戰團陣地ヲ布ク
 第一線ニ獨立シテ ^{ナイドハルツェン}Neidhartshausen ニ於テ獵兵一大隊(*)及散兵(隊名)一中隊占
 陣シ獵兵二中队ハ其西端北方出口及南方出口ヲ占領ス他ノ二中队ハ豫備
 ニ在テ村落ノ東方ヲ固守シ散兵中队ハ通過至難ナル ^{フエル}Felds 河ノ橋梁ニ位置
 ス ^{ツェル}Zella ニバー一大隊及一中隊位置シ而シテ北西部ノ圍郭ヲ占有シ、裏面ヲシ

通明及收

テ村落ヲ縱長方向ニ切斷セル街道ニマテ屈折セシム、火炮二門ハ村ノ北東
 端ニ備テ又々背後ノ騎兵三中队ヲ遮蔽シテ位置ス

(*) (獵兵大隊ハ兵力六百人ヨリ成リ四中队ニ編組ス歩兵大隊ハ兵力八百
 人ヨリ成リ六中队ニ組成ス)

前方旅團ノ第三大隊ハ二中队ヲ以テ ^{ゼー}Deemühle ノ西ニ在ル高地ノ南遙カニ
 八百米突ノ距離ニ收容陣ヲ取レリ大隊ノ殘兵二中队(他二中队ハ砲兵護衛
 トシテ差遣サレタリ)ハ退ヒテ ^{ディド}Didorf ノ西方遙カニ六百米突ノ距離ニ位置
 ス

撰定シタル陣地ノ正面ハ北西ニ向テ丘陵ニ對峙シ適當ナル地ヲ占ム ^{アルム}Derna-
^{バハ}bach ヨリ發セル普國ノ進軍ニ對シテハ ^{ツェル}Zella アリテ之レニ對ス而シテ ^{ツェル}Zella
^{ナイドハルツェン}Neidhartshausen ヨリ離ル、側方及後方共ニ千二百米突ナリトス故ニ大佐
 シニハイツェルハ其寡弱ノ戰兵ヲ四線ニ配列シタリ茲ニ其後方ノ軍隊ハ

其前方ニ戰鬪スル軍隊ノ戰鬪ニ於テ其陣ヨリ毫モ戮カスルヲ得ザリキ後
 衛部隊ノ後方千米突 *Fischbach* 附近ニ於テ師團ノ本隊位置セリ
 普軍ニ在テハ將官フオン、クンメルハ午前八時四大隊騎兵二中隊火炮六門
 ヲ以テ *Dernbach* ヨリ進軍シ第五十三聯隊ハ第一戰線ヲナス即チ *Fussilier* 大
 隊ト共ニ國道ニ位置シ、第一大隊ハ山地ニ於テ其東部ニ占位シ、第二大隊ハ
Zella ニ對シ西方ノ道路ニ在リ第十三聯隊ノ *Fussilier* 大隊ハ騎兵及砲兵ト共
 ニ街道ヨリ續行ス既ニ敵ノ陣地ニ接近セシトキ砲兵中隊前出シ以テ攻撃
 ヲ初ム *Neidhartsbausem* ハ包圍サレンコトヲ恐レタル防禦者ハ直ニ撤去シタ
 リ第一大隊ハ之ヲ尾撃シテ *Felda* 河ノ東 *Diendorf* ノ高地ニマテ續行セリ、今ヤ
 又 *Fussilier* 大隊ハ *Zella* ノ戰鬪ニ加ハレリ、蓋シ此附近ニ在テハ既ニ第十三聯
 隊第二大隊及第九中隊戰鬪セリ、初メ *Bayern* 騎兵三中隊退却シ、然ル後砲兵
 二中隊退ケリ、亦歩兵大隊ハ第六聯隊ノ一中隊ノ援助ニ由リ村落ヲ退避ス

此一中隊ハ直ニ侵襲セル普ノ軍隊ヨリ圍繞サレ唯タ將校一名卒十九名ノ
 ミ遁去スルヲ得タリ自餘ノ *Zella* 守備兵ハ *See-Mühle* 及 *Diendorf* ノ西方ニ排置
 シタル大隊及 *Fischbach* ヨリ爰ニ前進シタル火炮四門ニ由テ收容サレタリ、
 時既ニ十一時ニシタリベアツピール旅團ハ *Feldmühle* *Diendorf* 及西方高地
 ノ陣地ニ背進セリ其後前方ニ在リシ他ノ旅團ノ兵カ爰ニ退却シタリシ後
 戰鬪止ミ唯タ火炮射撃ヲ交換スルニ過キス將官フオン、クンメルハ更ニ砲
 兵二中隊騎兵四中隊火炮十二門ヲ以テ増兵セリト雖トモ略取シタル地區
 以外ニ進出セザリキ
 午後三時ニ兩軍共高等司令部ノ命令ニ從ヒ兩軍共退却ヲ爲セリ
 ツオルレル師團ハ其陣地ノ不良ナリシカ爲メ且ツ其兵力ヲ分チタルカ爲
 メ初メハ半數ニ充タサル敵兵ノ爲メ不利ノ戰鬪ヲ交エ加之一中隊ハ殆ン
 ト全ク撲滅サレタリ若シ之レニ反シテ全兵一陣ニ結合シタルナラハ強勢

ナル敵兵ト雖トモ毫モ攻撃ヲ試ミサリシナラン

第三十二章

千八百六十六年七月十日 Kissingen ノ戦國(第四十三略圖参照)

普國 Main 軍ハ Furd に向フ行進ニ由テ Kissingen 市ニ於ケル敵ノ第七軍團 (Bayer) 及第八軍團ノ集中ヲ防止スルヲ得サルノミナラス第八軍團ハ Franfurt ニ退却スルヲ得タルカ故ニ Main 軍ハ直チニ Bayern 軍團ニ對シテ轉進セリ、此後下サレタル行進命令ニ由リ普國師團ヲ Franken 國 Saale 河岸ニ向テ行進セリ蓋シ該地ハ敵ノツオルレル師團及ヒ騎兵師團之ヲ占領ス、此部隊ノ援助ニ由リ敵將カール親王ハ十日ニ未ダ尙ホ Neustadt 及 Münderstadt ニ滞在セル他ノ三師團ヲシテ Pappenhausen ノ陣地ニ向テ行進セシメント思考セリ

略圖

村落戰國ニ於ケル砲兵

中將フオン、ツオルレルハ Hanneleburg Waldaschach Hausen 及 Friedrichshall ヲ占領シタル後チ Kissingen ヲ防禦センカ爲メ唯ダ步兵五大隊三分一、騎兵三中隊半、及砲十二門ヲ殘留シ、但シ午前十一時マテニハ尙ホ步兵三大隊騎兵一中隊、火砲六門ヲ増加サレタリ
正面ニ在ル河川通路中石造國道橋梁ヲ阻絶シ其近傍ノ家屋ニ散兵ヲ置キ、且街道ニ火砲二門ヲ備ヘテ防禦ス、步兵二中隊ハ獨立豫備兵トシテ最近ノ横路ニ密集ス、其北方ニ在ル木製橋梁ハ殆ント之ヲ破壊シタリ、Lindemühle 附近ノ鐵製小橋及市街ノ南六百米突隔離シテ存在セル木製小橋ハ皆ナ其橋板ヲ撤除セリ、市街ノ九百米突廣キ西端ハ散兵ヲ以テ占領シ三大隊ハ市街ノ東ニ在テ豫備兵タリ、砲兵ハ市街ヲ離ル北東部四百米突ノ高地ニ占陣セリ

午前九時ゴエーベン師團ノ先頭ニ步兵十三大隊騎兵七中隊半火砲三十一

門行進セルクンメル旅團ハ攻撃ヲ始ム、但シ河流ヲ渡渉スルヲ得ス且ツ阻
 絶セル橋梁ヲ破壊セントスルモ散兵射撃ト霰彈射撃トノ爲メニ逐斥サレ
 タルカ故ニ兩岸ヨリ無効ナル歩兵持久戰闘ヲ爲スニ至レリ、獨リ普國ノ砲
 兵ハ ^{ガウツ}Gautesノ北方ニ位置スル先頭砲兵二中隊ハ ^{アルテンブルグ}Alten Burgニ在ル本隊ノ砲
 兵一中隊ノ援助ニ由リ敵ノ砲兵ヲシテ後方ニ陣地變換ヲ爲サシムルヲ得
 タルカ故ニ微カニ効果ヲ奏シタリ
 橋梁ノ突撃ハ利アラザリシモノ、如シ然リ而シテウエデル旅團ハ遙カニ
 南方ニ於テ渡河ヲ試ミサルヘカラザリキ、^{リンデン}Linden小橋ノ支梁及欄干ハ毫モ
 損害ヲ受ケス故ニ大尉フオン、デルブツセーハ其中隊ノ先頭ニ在テ第十五
 聯隊第二中隊共ニ敵ノ劇烈ナル射撃ヲ冒シテ一人毎ニ通過シタリ敵ハ市
 街ノ南端若クハ ^{スタツオン}Stationsbergノ山麓ヨリ六百米突若クハ九百米突遠隔セル
 地ニ在リシヲ以テ損傷極メテ僅少ナリキ茲ニ於テ乎其近傍ノ ^{ヴィラ}Villa Bay

於テ奪取シタル卓板及板ヲ以テ小橋ヲ修復シタル後第一大隊ノ他ノ三中
 隊及其他一大隊半續行セリ渡河ヲ始ムルト同時ニ爲スヘキ勇敢ナル攻撃
 ハ ^{バイエルン}Bayern軍ニ在テハ之ヲ等閑ニ付シテ實行セス
 既ニ渡河シタル軍隊ハ市街ノ南入口ニ向進シ、分離シタル小隊ハ東方 ^{スロ}Sro
^{シュタツ}Stonsbergニ向テ前進ス、兩方向ニ於テ何レモ地物ヲ占領セリ、同時ニ市街ノ南
 方部ハ普國ノ手ニ落チタリ橋梁防禦ニ當リタル火炮二門ハ側面ト背面ト
 ニ於テ脅威セラレテ先ツ退却シ、是レト同時ニ ^{クルガルテン}Kurgarten及本街道ノ防禦者
 之レニ續キテ退却スルニ方リクンメル旅團ノ一部モ亦鐵橋及主部橋梁ノ
 阻絶ヲ攀越セリ、今ヤ ^{バイエルン}Bayernノ守備兵ハ此強硬ナル戰闘ノタメ全ク市街ヨ
 リ驅逐サレ就中市街ノ北部ヨリ捕ヘタル百名以上ノ捕虜ハ凡テ普軍ノ手
 ニ落テ午後一時頃此部ノ戰闘ヲ終結ス

第三十三章

千八百六十六年七月十三日 ^{ランフアハ}Laufachノ戦鬪(第四十四略圖参照)

^{バイエルン}Bayern 軍ノ ^{キッシンゲン}Kissingenニ於テ敗北シタル後チ普國 ^{マイン}Main 軍ハ ^{フランクフルト}Frankfurtニ在ル敵ノ第八軍團ニ向テ向進ス

ゴエトマン師團ハ他ノ軍ヨリ二日行程前、即チ七月十三日 ^{ロヒ}Lohrヨリ二縱隊ヲ以テ ^{スベサルト}Spassartヲ渡過ス。タムル旅團ハ ^{ヴァルダスチャフ}Waldaschaffニウツランゲル旅團ハ(歩

兵七大隊騎兵三中隊、火砲十三門) ^{ランフアハ}Laufachニ達セサル可ラス。此兩地點ニ於テ午後第三時大公國 ^{ハッセン}Hessenノ前兵ニ遭遇セリ。蓋シ該前兵ハ微カ戰鬪ヲ交ヘタ

ル後チフレイン旅團ノ(歩兵四大隊騎兵一中隊、火砲六門)駐在シタル ^{ヴァイバヒタレ}Wibehitaleニ向テ退却シタルモノナリ。第六時 ^{アッシャヘンブルグ}Aschaffenburgヨリ到着セル師團長中將フオシ、バルグダラスハ普軍ノ大ニ疲勞シ且ツ彈藥ヲ消失シタルノ偽報ヲ信シ再ヒ ^{ランフアハ}Laufachヲ占領スヘキ命令ヲ下シタルトキ既ニ ^{ハッセン}Hessen 軍ニ在テハ其命

攻撃ト防禦トノ損害ノ

シタル偵察ノ目的ヲ完フシタルナリ、既ニ ^{アッシャヘンブルグ}Aschaffenburgヨリ進軍中ノストンクハウセン旅團(四大隊)ハ攻撃ヲ援助セサルヘカラサリキ。此命令ヲ下シタル後チ中將フオン、バルグダラスハ再ヒ ^{アッシャヘンブルグ}Aschaffenburgニ向テ歸還セリ

將官フレインハ援助ヲ待タスレテ直チニ其二大隊ト共ニ ^{フロンホフ}Fronhofenニ向テ前進セリ、街道上及ヒ其傍ニ第一大隊展開シ鐵道堤ノ上ニ猶ホ一中隊展開シ國道ノ北方ニハ近衛聯隊第二大隊ノ三中隊展開ス。火砲四門ハ攻撃ヲ援助スルタメ ^{ゲイセンベルグ}Geisenbergesノ東部斜坡ニマテ前出ス

普軍ニ在テハウランゲル旅團ハ ^{ランフアハ}Laufach附近ニ占陣シ第十五聯隊 ^{フュジリア}Fusilier大隊及ヒ驃騎兵一中隊ハ ^{ハッセン}Hessen 軍ノ開進ヲ認知シタルトキハ敵ト接シテ ^{フロンホフ}Fronhofenニ在ル前哨兵タル第五十五 ^{フュジリア}Fusilier大隊ト其勤務ヲ交代セント欲スル時ナリキ。三中隊ハ最モ急速ニ村落ヲ、他ノ三中隊ハ村落ノ北方ヲ、他ノ

二中隊ハ其地ノ南方ナル地區ヲ占領ス、翼ヲ増員スルカ爲メ其地ヨリ二千五百米突遠隔セル ^{ラウツフ} Lautsch ノ外方ニ差遣サレタル大隊ハ初メテ戰鬥中ニ到着ス其軍ノ疲勞シタルニ當リ該隊ハ七月八日以來行進シ十一日ニ ^{キッシンゲン} Kissingen ニ於テ戰鬥シタルナリ將官フオン、ウランゲルハ山麓ニ在テ防戦ヲ爲サント決定セリ

^{ヘッセン} Hessen 軍ハ盛カンニ樂ヲ吹奏シ爆針銃ノ尤モ激烈ナル射撃ニモ拘ラヌ初メハ隊形ヲ正シクシ尤モ勇敢ニ前進ス此ノ如クシテ普國ノ陣地ヲ距ル殆ント百二十米突ニ近接シタリ然レトモ此近傍ニ於テ中隊縱隊停止シ竟ニ轉向シテ退却ヲ爲セリ

敵ノ第二攻撃ハ殆ント同等ノ經過ヲ有シ其功ヲ奏セヌ唯タ若干ノ小部隊ノミ村落ノ圍壁ニ迄達スルヲ得タリ近衛聯隊ハ ^{ヴァイバーホフ} Weiberhufe ニマテ退却シ步兵第二聯隊ノ所在ニ集合ス而シテ背囊ヲ負ヒタル後更ニ ^{アッシャムンゲン} Aschamung ニ

向テ退却行進ヲ續行セリ

時ニ將官フオン、ストツクハウゼンハ其旅團ト共ニ戰鬥地ニ到着シ直チニ之ヲ率テ更ニ攻撃ヲ始ム即チ第三聯隊ヲ本道ニ第四聯隊ヲ其北方ニ少シク後退シテ位置セシム但シ火炮四門ハ普國散兵射撃ノ爲メ損害ヲ受ケタルヲ以テ ^{グイゼンベルグ} Gissenberg ヨリ漸々退却セサルヘカラサリキ

普軍ニ在テハ此間將官フオン、ウランゲルハ一大隊并ニ砲兵一中隊ヲ停車場ノ東方ニ在テ預備兵タラシメ其他ノ兵即チ第五十五聯隊ノ第一大隊及第二大隊并ニ砲兵一中隊ヲ ^{ヴェンデルシュタイン} Wendelstein ニマテ退却セリ

^{ヘッセン} Hessen 大隊ハ普ノ陣地前二百五十米突ノ所ニ即チ有効ナル銃火内ニ中隊縱隊ヲ編成シ前面小距離ニ散兵ヲ出セリ茲ニ全軍吶喊疾驅シテ前進ス然レモ再ヒ又タ此衆多ノ攻撃者ハ最近距離ニ備フル普兵ノ連發射撃ニ由テ擊退サレタリ然レトモ其一部ハ尤モ前方ノ農圃ニ入り暫シ之ヲ固守ス

ルヲ得タリ此間 ^{ウニツマク}Wendelsteinニ滞在セル普ノ援隊ハ戦闘ニ加入シ五中隊ハ砲兵中隊ト共ニ北方ニ前進シ一中隊ハ本道ノ南ニ前進ス村落内ニ侵入シタル敵兵ハ銃槍攻撃ノ爲メニ撃退セラレタリ大佐フオン、デル、ゴルツハ砲兵中隊ノ射撃ニ因リ援助セラレ其右翼及驃騎兵一中隊ト共ニ奮勇突撃シ以テ敵ヲシテ ^{ワイバーホフ}Weiberhofeニ充分退却セシメタリ

村落中及其南部ニ戦ヒタル軍隊ハ追撃ヲ爲スタメ前進ス而シテ ^{ヘッセン}Hessen軍ハ行李ヲ棄テ、速カニ ^{アッシャッフェンブルグ}Aschaffenburgニ退却セリ

普軍ハ最後ノ戦闘時限ニ至ルマテハ蔭蔽シタル陣地ニ於テ奮戦セリ故ニ其損傷甚タ僅カニシテ百分一或ハ二ナリキ開豁ナル原野ヲ縦隊ニ於テ最も有効ナル射域内ヲ反復運動シタル ^{ヘッセン}Hessen軍ノ損害ハ比較上頗ル多ク殆ント百分七ニ當レリ其損傷ハ左表ノ如シ

普軍 比 較

死傷者	一五	八一三七	一〇一
負傷者	一五七	二四一三六〇	一〇六 ^{1/2}
遁逃者	一三	一一三二一	一〇七三分一

第三十四章

千八百六十六年七月廿四日 ^{カウヤ}Tauber及 ^{ブイッホフ}Bischofsheimノ戦闘(第四十五略

圖参照)

第七(Bayern)及第八軍團ハ ^{カウヤ}Tauber河ニ接シテ集合セリ蓋シ未タ ^{フランクフルト}Frankfurt附近ニ在リト判断シタル普ノ ^{マイン}Main軍ニ對シ ^{スぺサート}Speyartヲ過キテ ^{アッシャッフェンブルグ}Aschaffenburgニ共同シテ前進センカ爲メナリ、^{オデンヴァルト}Odenwaldヲ貫キテ前進シタル普軍ノ現出ハ敵ヲシテ既ニ準備シタル作戰計畫ヲ中止セシムルニ至レリ第八軍團ハ七月二十四日 ^{カウヤ}Tauber河ノ最モ堅固ナル地區ノ後(東方)ニ到リ ^{グロスランデルフェルト}Gross-Randelfeldニ集合ス、

Verbach 及 Bischofsheim 附近ノ通路ハ已ニ Baden 及 Württemberg 師團ノ占領スル
處トナル

普軍ニ在テハ此日ハ唯 Rauber 河ノ左岸ニ至大ナル集中ノミヲ爲サント企
圖セリ然レトモ Hundheim ヲ經テ前進セル將官ゴエーベンニ通路ノ占領甚
タ微弱ナルヲ報セラレタリシトキ將官ゴエーベンハ自ラ之ヲ占領セント
決セリ

Verbach ハ一小戦ノ後オルデンブルグ及ハンザ一旅團ノ Baden 兵ヨリ之ヲ
奪取スルヲ得タリ

Bischofsheim ニ對シテハウランゲル旅團歩兵五大隊騎兵三中隊火炮十一門
前進シ之ヨリ二中隊ヲ Imphingen ニ分遣セリゴエーベン師團ノ殘兵ハ戦闘
ヲ終リタル後初メテ來着シタリ

Bischofsheim ニ在テ Württemberg 三旅團ノ中一旅團ハ隘路前ニ在ル市街ヲ二

隘路前

大隊ヲ以テ占領シ其北方遙ニ三千米突遠隔セル Imphingen ヲ歩兵三大隊騎
兵一中隊及火炮六門ヲ以テ固守ス他ノ兩旅團ハ歩兵十大隊及騎兵七中隊
ヲ以テ Rauber ノ東部左岸ニ遮蔽シツ、南方 Würzburg ニ通スル街道ニ位置シ、
施條砲十六門ヲ其北方好良ナル位置ニ備ヘ他二砲ハ Ditzheim ニ通スル街
道ニ備フ Imberg 山上ニ在ル普國砲兵ヨリ充分瞰制シ得ヘキ低地ナル市
街ハ最初午後二時五中隊第五十五聯隊ノ一大隊及第十五聯隊ノ第五中隊
ノ行ヒタル攻撃ニ由テ直チニ略取サル、之レ Württemberg 軍ハ普兵河川ノ
渡過シテ攻撃ヲ企テサルヘシト思意シタレハナリ普ノ軍隊ハ來襲シツ、
直チニ東部ノ縁端ヲ占領セリ茲ニ數多ノ負傷者ノ外尙ホ將校一名兵卒二
十七名ヲ捕フルヲ得タリ

普國砲兵及ヒ歩兵ノ射撃下ヲ Württemberg ノ兩大隊ハ東方ノ山端ヲ攀登セ
サルハカラサリキ Würzburg 街道ニ進行シタル車輛三十ヲ有スル糧食縱隊

ハ射撃内ニ停止シ且ツ戦闘線内ノ交通ヲ遮断セリ、^{ディッテハイム}Dittighheimニ通スル街道ニ備ヘタル火砲二門ハ非常ノ努力ヲ以テ漸ク此妨害物ヲ避ケ至大ナル砲列線ノ右翼ニ陣地ヲ占ムルヲ得タリ

^{ヴルテンベルグ}Württemberg軍ニ在テハ斯ノ如ク綫條砲十八門ヲ集メタルモ普軍ニ在テハ十二斤滑腔砲六門ハ二千五百米突乃至三千米突ノ距離ノタメ効力ヲ奏スルヲ得サルヲ以テ實際敵ト對戦シタル砲兵ハ尙ホ近距離ニアリシ五砲門ニ過キス

今ヤ敵兵ハ其強固ナル陣地ヲ常ニ防止スルヲ以テ満足スルヲ以テ戰術上至當ナルニ係ラス敵ハ格別ナル抗抵ヲ爲サスシテ敵ニ渡シタル地點ヲ再ヒ略取センカタメ攻撃ヲ行フヲ企圖シタリ

最初諸大隊入行ヒタル突撃ハ唯最前方ニ在ル普ノ五中隊ヨリ逐斥サレタリ但シ一中隊ノミ橋梁ニ接シテ蹈ミ止リ又市場ニハ尙ホ他ノ一中隊蹈ミ

止マルヲ得タリ攻撃ハ中隊縦隊ニ於テ強力ナル散兵群ヲ先行セシメタル

隊形ヲ以テ行ヘリ ^{ヴルテンベルグ}Württemberg軍ハ高地ヲ下ルニ方リ損傷ヲ蒙リタルニモ

拘ラス猛烈ニ前進セリ然レトモ已ニ接近スルニ方テハ大ニ兵力ヲ増加シ

^{レクテリスカハヤ}Rektorskapelle ^{ヘーレンツ}Heerenz 附屬寺院ノ地ニ於テハ其先頭ハ大損害ヲ蒙リ

敵ヨリ三百米突乃至五百米突ノ距離ニ近接セルヤ直チニ轉回シテ退却セ

サルヘカラサルヲ見ルニ至レリ唯タ半小隊ノ正面ヲ展開スルヲ得タル橋

梁附近ノ中隊ハ至大ナル効力ヲ以テ四列齊發ヲ應用シタリ

全ク之レト同方法ヲ以テ第二攻撃モ亦撃退サレタリ

普軍ニ在テハ藥筒ニ欠乏ヲ告ケタルカ故ニ第五十五聯隊ノ ^{フュシリエル}Fusilier大隊ハ

退却シ第二大隊之ニ代テ市場ニ前進ス敵ハ數回試ミタル攻撃ヲ悉ク損傷

ヲ與エテ撃退シタル機ニ乘シ大佐ストルツハ其聯隊ノ第五中隊及第六中

隊ヲ以テ進撃ノ譜ヲ奏セシメツ、橋梁ヲ渡リテ侵撃シ其右岸ニ在ル家屋

及庭園ヲ占領ス此攻撃ニ加列シタルハ重ニ第十一中隊及第十二中隊ノ大部分ナリトス蓋シ他ノ フュシリール Fusilier 兩中隊ハ其射撃ニ由テ突貫ヲ援助シタリ
 同時ニ川ノ上流ニ在ル第一大隊ノ諸部隊ハ水流ヲ渡涉シ或ハ泳過シ途ニ ローレンツ Lorenz 附屬寺院ヲ占メタリ
 此歩兵戰鬪間兩軍ノ砲兵ハ絶ヘス射發セリ、普ノ火炮五門ハ敵ノ突撃縱隊ヲ射撃ス、四時三十分火炮ヲ損シタルタメ暫時發射ヲ靜止セリ、然リ而シテ敵ノ砲兵線ハ直チニ市街ヲ離ル九百米突ニ接近シ猛烈ナル射撃ヲ行ヒ東方ノ圍郭、橋梁或ハ河ノ右岸ノ局地ヲ猛射セリ其火力最モ劇烈ナリシカタメ家屋ノ一部ハ燃燒セリ
グロス・リンデルフェルト Gross-Rinderfeld ヨリ前進シタル軍團ノ本隊到着シタルタメ砲兵ハ更ニ火炮二十二門ヲ増加シ橋梁ヲ通過スル能ハサルニ至リタルヲ以テ、普ノ先頭部隊ハ ローレンツ Lorenz 河ヲ涉リテ其彈藥ヲ運ハサルヘカラサリキ而シテ水勢尤モ烈

防禦ノ損害ノ甚

シク各兵士ノ胸部ニ達セリト云フ
 五時頃地利ノナツサツ師團ハ戰場ニ來着ス、然レトモ戰鬪ヲ交ヘスタ景行ヒタル ヴュルテンベルグ Württemberg 軍ノ退却ヲ掩護セルノミ將官フオン、ウランゲルハ其最後ノ時迄貯ヘ置キタル大隊ヲシテ ローレンツ Lorenzkapelle 河ヲ經テ ヴュルテンベルグ Württemberg 軍兵ハ殆ント蔭蔽内ニ在ル敵兵ニ對シテ攻撃ヲ行ヒタルカ故ニ其損傷モ亦隨テ多カリキ普軍ハ死者并ニ負傷者共將校十名卒百十三名ニ過キスト雖トモ ヴュルテンベルグ Württemberg 軍ニ在ラハ將校二十五名卒四百六十七名ヲ失ヒ尙ホ其他將校二名卒百八十九人ノ遁逃者アリタリ其内僅少ノ部分ハ負傷セスシテ捕虜ト爲レリ故ニ尙ホ負傷者ノ數ヲ増加スヘシ

第三十五章

千八百六十四年六月二十九日 ^{アルゼン}Alberノ渡過

^{ディッペル}Dippel 堡壘ヲ突撃シテ掠奪セント未タ決定セサル前ニ間接ニ ^{アルゼン}Alsenヲ渡渉シテ之ヲ奪取セント企圖シタリ其兩目的即チ堡壘及島嶼ハ此ノ如ク一擊ヲ以テ没落セサルヘカラサリキ(第四十六略圖參照)

渡過地ニ當ツルニ ^{アルゼン}Alber 小灣ヲ以テスルヤ或ハ海峽ヲ以テスルヤヲ選定スルニ方リ遂ニ小灣ヲ渡過スルニ決定ス爰ニ兩者ノ利害得失ヲ講究セサルヘカラス夫レ小灣ハ頗ル廣漠ニシテ海水荒ク船橋ヲ設備センニモ龍骨ナキトキハ之ヲ利用スルヲ得サルカ故ニ企圖最モ危険ナリ又タ敵ノ戰艦ハ最良好ナル運動地及戰鬪地ヲ有セリ

故ニ敵ハ此地點ヲ以テ便利ナル急襲地ト認定ス却テ此地位ニ於テハ渡行ヲ實行シ得サルモノトシ彼方ノ海岸ニハ毫モ砲臺ノ設備ナク亦多少ノ軍

隊ヲモ備ヘサリキ、而シテ一大隊ノ ^{アウグステンブルク}Augstenburg ヨリ到達スルニハ二時間乃至三時間ヲ要シ至大ノ兵數 ^{ボンデルブルグ}Bonderburg ヨリ來着スルマテハ必ラス四時間乃至五時間ヲ經過スヘシ然レトモ此時既ニ攻者ハ無數ノ軍隊ヲ送致シ攻撃ノ企圖益々確實ナルニ至ル、又タ第二ノ渡過點タル海峽ニ在テハ急襲ヲ行フコト殆ント難シ蓋シ東岸ニ在ル衆多ノ海岸砲臺ハ狭小ノ航路ヲ瞰制シ、丁抹ノ全力ハ其傍ラニ在リ、茲ヲ以テ最初渡行シタル軍隊ハ至大ナル優勢ノタメニ海上ニ逐斥セサルヘシ

稍々至難ナル準備ヲ完フシタル後四月二日ヨリ三日ノ夜 ^{バルレガルド}Ballégard ヲ渡過スルコトニ決定シタリ、此日晝間ハ天氣晴朗ナリシニモ係ラス強風起リ海水ノ震蕩増々激烈ヲ加フ然レモ諸事整備シテ茲ニ專心渴望シタル企圖ヲ實行セサルヘカラサリキ既ニ一部分ノ渡行ヲ全フシタリト雖トモ未タ暴風ノ起ラサリシハ幸福ナリキ

今ヤ全ク渡過ヲ中止ス蓋シ Dippel 陣ハ四月十八日ニ陥リ其結果トシテ五月十二日ヨリ六月二十五日マテ休戦ヲナシタルニ因ル然レトモ休戦ノ期滿ルヤ到ル處咸ナ海水ニ由テ隔絶セル敵ニ對シテ聊カ計畫セサル可カラサリキ茲ニ海水ニ由テ隔絶セルトハ即チ Iutland ニハ Lynford アリ Finnen ニハ Middelhant ノ海峡アリ Alsen ニハ海峡及小灣アルヲ云フナリ Ballegard ヲ渡過セント計畫シタル以來又タ Fridricois ノ没落ニ由テ Finnen ニ於ケル計畫ヲ完フスルヲ得タルカ故ニ至幸ノ結果ヲ奏スヘキ希望ヲ増大ナラシメタリ而シテ丁抹軍ハ其ノ爲メ分離セサルヘカラサリキ又丁抹軍ニ在テハ Duppel 堡壘掠奪前ハ渡過スヘキ點ハ當初ハ唯タ北部ノ半ニ過キサリシト雖トモ今ヤ海峡ノ全沿岸ヲ監視セサルヘカラサリキ Alsen ノ奪掠ハ高地ニ於テスヘク規定サレタリ而シテ Duppel ノ攻撃ヲ指揮シタル將官ヘルワルト、フオン、ピツタン、フェルドハ前述シタル諸原因ヨリ

小灣ヲ渡行セント決セリ二十七日及二十八日ノ夜之ヲ實行スルコトニ決定ス同時ニ海峡ニ接シテ威示運動ヲ爲シ或ル場合ニハ渡行セサルヘカラス然レトモ丁抹兵ヲシテ海峡ヲ注意セシメンカ爲メ六月廿六日ノ朝茲ニ在ル吾海岸砲臺ヲ以テ射發セリ丁抹兵ハ其力ノ劣レルヲ知り毫モ火砲戰闘ヲ試ミス反テ眞ノ渡過ヲ行フ一瞬時ニ至ルマテ其砲兵ヲ出サトリキ普軍ニ在テハ二十七日ニ敵ハ吾小灣渡過ヲ行フヲ推知セリト認メタリ然レトモ熱心ニ堡壘事業ニ従事スルヲ見サリキ且ツ前日ト均シク至大ナル軍隊ノ集合スルヲ目視セリ丁抹ノ三甲鐵艦中最モ強堅ナル Pohkrake 艦ハ小灣ヲ經テ Augustenburger ノ灣内ニ入港セリ茲ニ於テ將官フオン、ヘルワルトハ其決定ヲ變更シ更ニ六月二十九日ノ夜海峡ニ於テ行フヘキ計畫ヲ實行スルコトニ決定セリ最モ適切ナル渡過點ヲ選定センタメ已ニ豫メ偵察ヲ行ヒタル際海峡ノ南

部廣サ僅カニ三百米突乃至四百米突ノ地ハ技術上ノ難點實ニ僅々ナルヲ知ルヲ得タリ然レトモ之ニ接近シテ其兵營風ニ強固ニ築設シタル *Bunker* *Burg* 堡アリ又タ海岸ノ左方ニハ毫モ端艇ヲ配置スルカ如キ準備ヲ敵ニ蔭蔽スヘキ地形ナキカ故ニ戰術上ノ熟慮ヲ要スルヤ明カナリ於是乎海峽ノ北方ナル廣裕ナル地點ヲ渡過セント決ス而シテ遂ニ四個ノ適當ナル渡過地ヲ發見スルヲ得タリ

第一ノA地點ハ海岸一般ニ險阻ニシテ高ク且急ナル斜阪ヲ有シ敵人注意ヲ惹カスシテ海邊五十乃至六十米突ニマテ近接スルニトテ許ス大林アリ兵士七百五十人ニ供スル端艇五十隻ハ林端ニ一列乃至二列トシ全ク敵ヨリ注視サルヲナク已ニ夜中ニ之ヲ配置セリ全船舶ハ同時ニ狹小ナル草原ヲ經テ海上ニ浮ヘルヲ得タリ此地點ノ海峽ノ廣サハ唯々六百三十米突ナリキ

B地點ニ在テハ *Sattupholz* ヨリ海岸ニ達スル里道ノ盡クル點ニシテ海ニ接シ生離ヲ以テ圍繞シタル瓦燒場アリ其内ニ兵士六百五十人ニ供スル端艇四十二隻ヲ配備ス而シテ此端艇ハ漸々海上ニ送致セラレタリ彼岸ハ七百六十米突隔離ス又此點ヨリ砲兵及騎兵ヲ渡涉セシメサルヘカラス再度試ミタル後殊ニ *Schle* ニ於テ次キノ構造ヲ成スヲ得タリ即チ二船橋ヲ四米突五十珊米ノ幅ニ連繋セルモノニシテ第三軍ノ橋梁輜重ヲ以テ立トコロニ此ノ如キ機械十六組ヲ調製セリ其一組ヲ以テ馬匹共騎兵八名乃至九名或ハ砲卒及駕馬四頭ト火砲一門ヲ運搬スルヲ得タリ

小架橋縱列ハ上陸橋梁ノ築工ニ利用サレ該橋梁ハ兩岸ニ十米突ノ長サニマテ設備セサルヘカラス何ントナレハ海岸ヨリ此ノ如ク隔離セハ端艇ノ爲メ充全ナル吃水ヲ得レハナリ

第三地點Cハ小川ノ遙カ北方ニ在リ該小川ハ水底ヲ浚除シ爲メニ端艇ニ

ハ充分ノ深ヲ保有ス然リ而シテ聊カ陸地ニ入りテ小林中ニ充全ナル蔭蔽ヲ發見セリ、又茲ニ配備シタル兵卒四百人ニ供スル端艇ハ漸次ニ海中ニ進行スヘキ筈ナリ、此ノ地點ニ於ケル航路ハ八百三十米突ノ長サヲ有ス尙ホ殘留シタル最モ強堅ナル端艇四十二隻ハ海峽ノ他部ニ毫モ適當ナル航路ヲ發見スルヲ得サリキ故ニ ^{スルガタ} Ballegard ニ於テ水上ニ浮ヘ ^{シタツク} Schnabeck Hage ノ北方ニ於テ初メテ兵員ヲ乘船セシメ而シテ ^{アムステルダム} Amstelsore ニ對シテ航行セサルヘカラサリキ、其後ノ運搬ハ近傍ノ D 地點ヨリ行フモノトス、第一ノ距離ハ千九百米突ニシテ第二距離ハ殆ント九百米突ナリキ、而シテ此點ヨリ又兵員七百五十人ヲ運送スルヲ得是故ニ各四地點ニ渡過シタル全計ハ端艇百六十三隻兵員二千五百五十人ニシテ即チ三大隊二分一弱ノ兵ヲ運搬シタルナリ、端艇ノ漕手及舵手ニハ船橋兵五中隊ヲ以テ之ニ當テリ其他歩兵中ヨリ熟達セル者七百八十八人ヲ撰拔セリ

諸多ノ十一砲臺ニ備ヘタル攻城砲四十門及ヒ野砲十四門ハ敵艦ノ入港ヲ防止シ、并ニ又敵ノ海岸砲臺ニ沈黙セシムルタメ既ニ整備シタリ其他砲兵ハ大隊ノ前進ヲ他ノ海岸ニ在テ援助セサルヘカラサリキ、乘馬砲兵三中隊ハ豫備陣地ニ於テ排置ス又小灣ニ沿ヒ重火砲十門ト輕火砲十二門ヲ備フニ漸次渡行スヘキ梯隊ノ列次及兵力ハ之ヲ規定セリ、即チ連合第一軍團ノ全四旅團ハ渡過シ、其先頭ハ第十二聯隊、第二十四聯隊及第六十四聯隊之レニ任スヘキナリ其服裝及ヒ裝具ニ關シテハ左ノ如ク命セリ
行李及兜ヲ携帶スヘカラス外套、土工器具、厨具及三日分ノ食料并ニ藥筒八十箇ヲ携帶スヘキモノトス
已ニ渡過シタル軍隊ノ行爲ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム即チ左ノ如シ
渡過ヲ完シタルトキハ第一梯隊ハ其地ノ堡壘ヲ掠奪シ直チニ ^{フレンホル} Fohlenko-
Pel^ヘノ南端ニ侵入シテ之ヲ占領シ第二及第三梯隊ノ到達ヲ待ツヘシ

規定シタル渡過時間ハ即チ二時ナリキ、各司令部ノ時計ヲ一定セリ、最初ノ出發地三箇所ニハ正二時端艇ヲ送出セサルヘカラス、唯 ^{ノナラハ} Schnabel Hage ニハ次回渡行ヲ願慮シ十五分前ニ乗船ヲ行ハサルヘカラサリキ

夜十一時頃諸砲臺ハ射撃準備ヲ完フセリ而シテ諸軍隊ハ運動ヲ始ム全ク騒噪スルナク、繁茂セル山毛榉林ヲ貫キテ前進セリ、架橋輜重ハ海岸ニ在ル注意周密ナル敵ヲ避クルヲ得サリキ、故ニ終始敵ノ砲臺ノ發射スルヲ待テリ、然レニ敵ハ全ク靜肅ニシテ射撃セサリキ、此北方ノ平地ハ七月下旬ハ深更ニ至ルモ全ク暗黒ナラス能ク彼岸ノ縁端ヲ明カニ知認セシメタリ、第四端艇縱隊ハ正一時四十五分陸ヲ離レテ出帆セリ、其初メ十五分間ハ最も靜肅ナリシモ一度ニ快活ト成リ端艇ハ砂礫ノ上ヲ滑走シ、諸兵士ハ腰部ニ達スルマテ水中ニ續行ス、而シテ平等ニ端艇ノ兩側ヨリ乗船セリ、A縱隊ハ一聚シテ海岸ヨリ出進セリ、B及ヒC縱隊ニ在テハ端艇ノ送致遅延シタル

カ故ニ中隊毎ニ出發セサル可ラサリキ、然ルニ敵兵ニ在テハ今尙ホ靜肅ニシテ微聲タモ發セス既ニ海峡ノ中央ニ達シタル頃彼岸ヨリ一發ヲ放テリ諸兵直チニ其砲聲ニ對シテ行進セリ然リ而シテ恰モ突然爐壁間ノ破裂シタルカ如ク兩側ニ於テ震然爆鳴ヲ發起セリ、玆ニ於テ攻撃ヲ知ラシム最早靜肅ヲ保ツノ要ナシ、今ヤ數千ノ兵擊鼓吶喊奮然決戰ヲ促カセリ、然リ而シテ敵彈雨射ノ中ニ在テ勇然奮闘ス、數多ノ端艇平坦ナル海面ヲ行進シ、二時十二分頃第一及第四端艇縱隊ハ正ニ同時ニ敵ノ海濱ニ到着セリ、B及C縱隊ハ微カ後レテ到着セリ、諸兵水中ニ投入シ敵ノ塹壕或ハ砲臺ニ對シテ奮進セリ、何レモ第一襲撃ヲ以テ之ヲ掠奪スルヲ得タリ、D縱隊ハ ^{ノナラハ} Arnskjelsore ノ尖端ニ在テ毫モ抵抗ヲ受ケスシテ突進セリ、玆ニ於テ整然 ^{ノナラハ} Fohlenkoppj ノ北端ニ前進スルヲ得タリ、蓋シ該地ニハ諸縱隊漸々敗北シタル敵ヲ追躡シ來レリ、第一梯隊ハ二時四十分頃到着シタル第二梯隊ノ未タ戰闘ヲ交エサ

ル前ニ既ニ ^{ホルフクラク} Fohlskrappel ノ南端ニ達スルヲ得タリ
 Bナル渡過地ニ在テハ其間快活ニ作業シ船橋輜重ノ車輛四十臺野戦架橋
 輜重ノ車輛十三臺ハ脱装サレ長サ七十五米突ノ二橋礎ヲ築工シ以テ船舶
 ヲ連繫ス三時二三分钟前敵ノ ^{ホルフクラク} Kolkraake 艦ハ ^{アウグステンブルグ} Augustenburg 小灣ヨリ現出シ海峡
 ヲ縦テニ射掃シ得ンタメ茲ニ占位セルトキハ恰モ攻者カ彼岸ノ橋梁ニ材
 料ヲ送致スル最中ナリシD及C地點ヨリ發シテ殆ント中途ニ在ル端艇ハ
 霰彈射撃ヲ蒙リタリ然レトモ餘リ高ク飛散シ被害極メテ寡少ナリキ綫條
 二十四斤砲八門及綫條十二斤砲八門ハ敵ノ甲鐵艦ニ對シテ絶ヘス發射セ
 該艦体ハ二十五分間ノ後戰鬪ヲ止メ再ヒ爰ヲ退避シタリ而シテ該艦体
 ハ海峡ニ入港スルヲ試ミサリキ若シ半時間前ニ茲ニ入港シタランニハ或
 ハ我軍ノ計畫ヲ著シク妨害シタルナラン元來 ^{ホルフ} Kolkraake 艦ハ此危殆ナル時機ニ
 於テハ艦体ノ存亡艦員ノ生死ヲ顧ミス戰鬪スヘキ處ナルニ却テ早ク退却

シタルハ戰術上其當ヲ失シタルモノトス
^{ホルフクラク} Kolkraake ノ退却シタル後ハ彼邊ノ諸砲臺ハ已ニ沈黙セルカ故ニ最早渡過
 ヲ防止スルモノ莫シ九時マテニ二十二大隊即チ兵員一萬六千人渡過セリ
 又B地點ニ在テハ其他午前三時ヨリ午後一時マテノ時限間ニ各司令部ノ
 馬匹騎兵三中隊砲兵四中隊野戦衛生隊及ヒ ^{ヨハンニッテ} Johannitel 組ノ患者車輛ヲ運搬
 シタリ歸航ノトキ二千人以上ノ捕虜ヲ携帶ス此ノ如キ大業ヲ奏効スルニ
 ハ如何ナル勞力ト如何ナル冒險トヲ以テ奮激働作セサルヘカラサリシヤ
 ヲ推知スヘシ
 此冒險ニ就テハ渡過ノ損害極メテ寡少ナリキ破壊セラレ或ハ轉覆サレタ
 ル端艇ノ數ハ僅カニ十隻ニシテ其内一部ハ麻笈栓ヲ以テ破孔ヲ填塞シ及
 ヒ侵入シタル水ヲ汲盡シテ人ノ敵岸ノ淺所ニ到達セルマテ浮游セシメタ
 リ全員中溺死者五名ニシテ此兵員ハ榴彈射撃ノ爲メ直チニ海中ニ沈没シ

タル端艇乗組員十七名中ノ人員ナリトス、其他ノ損害ハ之ヲ確定スルヲ得サルナリ然レトモ工兵ノ損傷僅カニシテ死者三名負傷者十五名ナリキ次回戦鬪ニ關シテハ丁抹兵ハ勇壯ノ防禦ヲ爲シタル後 ケケニス Kekenis 半島ニ退去シ、此處ヨリ船艦ニ乘リ移リタルヲ知ルノミナリキ、普軍ニ在テハ茲ニ追撃ヲ續行セス、何ントナレハ重火炮ヲ以テ防衛シ且ツ掘穿セル海峡三箇所ヲ勇奮努力身心ヲ犠牲ニシテ已ニ奪取スルヲ得タルカ故ナリ
 普軍ノ死傷ハ合計將校三十一人兵士三百四十二人ニシテ丁抹軍ハ殆ント兵士四千人其内捕虜二千五百人ナリトス
 此六月二十九日ノ軍功ハ兵士ノ勇敢ト奮戰トニ由ルト雖トモ亦大ニ注意周到ナル整頓ニ由ラサルヘカラサリシナリ、然レトモ亦此冒險ニ對シテ比較的容易ナル好果ヲ奏シタル所以ノモノハ一ハ丁抹軍ノ防禦ニ欠乏セルニ由ラスンヘアラス

Algen Algen ノ防禦ニハ將官スタインマンノ指揮セルモノ即チ左ノ如シ歩兵十二

大隊(一大隊ニ就キ兵卒八百人)、野戰砲兵三中队(一中隊毎ニ火炮八門)、騎兵二中队、要塞砲兵三中队及工兵一中隊即チ合計將ニ兵士一万一千人及ヒ野砲二十四門ナリ其他砲臺ニハ要塞砲六十七門ヲ備エタリ

丁抹將官ハ此兵力ヲ以テ尤モ完全セルモノトシ増兵ヲ爲サントスルモ之ヲ拒絕セリ又丁抹戰艦ヲ以テ海上ヲ射拂スルノ際小灣ノ攻撃ヲ全ク眞實トセサリキ故ニ前上ノ兵力中唯二大隊騎兵一中隊火炮四門ヲ島ノ北方部ニ差遣セリ然レトモ他ノ四大隊及火炮八門ハ島ノ兩部ノ豫備兵トシテ常ニ ウケヒル Ukehill スンダスマルク Sundsmark ワッレル Wollerup ノ營舎ニ置キタリ、

是故ニ海峡ノ直接ノ守備、及防禦ニハ六大隊ト砲兵一中隊半ヲ使用スルヲ得タルニ過キス、而シテ最モ狭小ナル海峡及最モ良好ナル海岸ノ地ヲ顧慮シ南方半部ニ上陸スルヲ眞實ナリト認メタルカ故ニ クジャヴィグ Kjarvig 海峡ノ南部地

區ニ四大隊ト火砲四門ヲ送り北部地區ニ二大隊ト火砲八門トヲ設備シタリ
 此二大隊中夜間ニ二中隊ハ塹壕ヲ占領シ、二中隊ハ晝間營舎ニ在リ、他ノ四
 中隊ハ海岸ヨリ遙カニ千五百米突遠隔シタル森林中ニ蔭蔽セル廠營内ニ
 占陣ス、配分サレタル砲兵中唯二砲門ノミ北頭部ノ近傍ニ備ヘ他ノ六砲門
 ハ カキヤウキヤウ Dikebüllニ露營セリ
カキヤウキヤウ Kjarvigノ南方ノ沿岸ハ四大隊區ニ區分シ夜間半大隊毎ニ塹壕ヲ占領シ他
 ノ半大隊ハ遙カニ其後方ニ占位ス火砲二門ハ クセルウツト Kselwattノ西端ニ在リ他二門ハ
ヒヤンゲル Hingelshoiニ備フ
 又毎夜豫備大隊ノ一大隊ハ作業ヲ爲スカタメ陣地内ニ在リ而シテ該隊ハ
 警報ノ生起スルヤ直チニ クセルウツト Kselwattノ南方ニ集合セサルヘカラザリキ
 丁抹兵ノ此配備ハ實ニ過失ヲ免レサルナリ然ルニ左ノ處置ニ就テ之ヲ見
 ルモ地區豫備隊カ北方ニ南方ナルヤ疑フ所トス集屯セザリシハ缺點ナル

モノ、如シ

守者ノ配備ハ前記ノ如ク過失多キニモ係ラス普軍ノ渡過ハ至大ノ困難タ
 ル固ヨリ論ヲ待タス何トナレハ守者ハ クセルウツト Kselwattノ北部及南部ノ兩地區ニハ
 各二大隊及四砲門ヲ備フ而シテ クセル Kselノ警急營舎ニ在ル二大隊及ヒ四砲門
 ハ共通ノ豫備兵ヲ形成セリ之ニ又作業ニ從事シタル大隊加ハレリ
 夜ニ至リ兩地區ノ傍ラニ四中隊及砲兵前哨ノ本隊密集シテ中央ノ背後ニ
 位置セリ而シテ地區ノ兩端ニハ各々密集セル二中隊控兵位置ス、監視及警
 戒ハ小哨及ヒ歩哨ヲ海峽ニ接近シテ之ヲ爲サシメタリ
 密集部隊ハ微カ其後方ニ密接セリ、例セハ フナレンコッペル Funenköppelノ西端ニ占位スル等
 ノ如シ故ニ敵兵渡過シテ此方ノ沿岸ニ達セハ直チニ之ヲ襲撃スルヲ得晝
 間ハ守者軍隊ノ大半ハ營舎ニ在リタリ
 此兵員ノ配分ニ由テ普ノ第一梯隊ニ對シテハ一大隊半行進シ而シテ尙ホ

他ノ戰兵向進シ來レリ、伯爵ソルデルゼノ命令ニ由リ普國ノ軍隊ハ四時迄北方地區ノ警戒ヲ努メタル兩大隊ニ對シテ戰鬪シタリ、而シテ フチンハルカ Fohienkoppel ヲ掠奪スルマテハ唯々四中隊ヲ以テ戰鬪シ(ワ)ルデルセ著書五百〇一頁參照其後他ノ三中隊ハ漸次ニ戰鬪ヲ挽回セント試ミタリ、第八中隊ニ就テハ更ニ記述スル所ナシ

アルゼン Aisen 島ヲ掠奪シタル後丁抹ノ海岸砲臺ヲ監査シタルニ其築工最モ缺典多シ即チ唯々側面ノミ砲門ヲ備ヘ之ヲ以テ唯固有ノ沿岸ノミヲ射撃シ得タルノミ、多クノ堡砦ノ正面ハ唯步兵防禦ニノミ構築セリ、故ニ普國ノ入港點ノ射撃ハ實ニ僅少ナル割合ニテ爲ヌヲ得タリ茲ヲ以テ渡過ノ損傷又々僅々ナリシヤ已ニ明ラカナリ、自己ノ弱少ナル火炮ヲ優勢ナル普ノ砲兵ニ對シテ掩護セントスルカ如キ空漠ニ失スル注意ハ反テ其ノ損害ヲ招キタルナリ

其他此防禦ニ關シテノ失策ハ丁抹軍ニ在テハ渡過ニハ通例世人ノ行フカ如ク先ツ攻者ハ砲兵戰ヲ以テ戰鬪ヲ準備スルモノト全ク信シタルモノ、如シ然ルニ攻者ハ二十九日全然急襲シテ渡過ノ目的ヲ達シタルナリ

第三十六章

千八百五十九年五月二十日 モンテセルロ Montecello ノ戰鬪

奧地利軍ハ千八百五十九年四月二十八日國境ヲ形成セル チチノ Ticino ヲ經テ攻勢ヲ取リ以テ戰争ヲ始メタリ然レトモ ヴァレンツァ Valenza 及 カサレ Casale ノ ピエモンテ Piemontes 地ノ前ニ於テ無爲停止シ佛軍ノ到着前ニ サルディニア Sardinien 軍ヲ攻撃スヘキ機會ヲ失エリ

五月半ハ軍ハ未タ セシア Sesia Po 及 チチノ Ticino ノ間ナル地方 ロンエリナ Lonellina ニ在リ、セシア Sesia Po ノ兩河ニ架セル橋梁ハ之ヲ破壊セリ之ニ反シテ バッカザ Baccarizza ニ舟橋ト橋頭堡トヲ築設シタリ此河岸ニ突出シテウルバン豫備師團ノ一部滞在シ ストラデッラ Stradella ニ

ハ第九軍團ノ二旅團占陣ス(第四十七略圖參照)
 埃地利本營ニ在テハ敵ノ位置及企圖ヲ更ニ知ラサリキ、而シテ *Voghera* ニ對
 シテ威力偵察ヲ實行セント決セリ、蓋シ其主旨タルヤ敵ハ戰略上ノ迂回ヲ
 ナシ *S. Opirano* ヨリ渡過ヲ試ミ以テ *ボゴ* ノ右岸ニ其首力ヲ出スノ企圖ヲ有
 セサルヤ否ヤヲ知得セントスルニ在リ
 此企圖ヲ爲スタメ指定サレタル諸隊ハ強行軍ニ由テ *Bacurizza* ニ達シタル
 第五軍團ノパウムガルテン師團其他橋頭堡守備兵ノ一部ウルバン將官ノ
 支隊及 *Stradella* ヨリ來レル第九軍團ノ一旅團ニシテ合計二十五大隊騎兵九
 中隊火砲六十八門兵員二万二千人ナリ
 五月二十日全軍司令官中將伯爵スタジランノ與ヘタル命令ハ三縱隊ヲ編
 成セシム、各縱隊ニハ能ク土地ヲ暗シタル將官ウルバンノ軍隊ヲ配分シタ
 リ

十九日ニハ *Casteggio* ハ敵兵ヨリ占領サレタルヲ見タリ
 埃軍司令官ノ命令即チ左ノ如シ
 五月二十日ノ早天吾命令ノ下ニ立ツヘキ軍隊ハ三縱隊ヲ以テ *Casteggio* ニ
 前進スヘシ
 第一 中將ウルバンニ屬スル左翼縱隊ハシヤフゴツチエ及ブラウム旅團
 (七大隊騎兵二中隊火砲十六門)ヨリ成リ街道ヲ過キ *Stradella* ヨリ *Casteggio* ニ
 向フヘシ但シ其左側面ハ上陸ニ對シテ警戒スヘキモノトス
 若シ先頭 *Verzato* ニ (*Casteggio* ノ東三千米突ニ位ス)到達シタルトキハ停止ス
 ヘシ、而シテ攻撃準備ヲ爲スヲ要ス、然レトモ之レヲ實行スルニハ余力與フ
 ヘキ余ノ命令ヲ待ツヲ要ス、余ハ中央縱隊ノ *Robecco* 及 *Casariano* ニ到達セハ
 此命令ヲ與フルナルヘシ
 第二 中將パウムガルテンニ屬スル中央縱隊ハガール及ピルス旅團ヨリ

成ル者ニシテ(歩兵十大隊騎兵二中隊火砲廿門及豫備本軍二大隊騎兵二中隊火砲廿門ヨリ編成ス) バルビアーネロ Barbianoello 及ヒ サン・レジー S. Le'ヲ過キ行進スヘシ但シ此諸隊ノ内チ第一旅團ハ共ニ カサチーナ Casasinaニ向ヒ第二旅團及其他豫備ヲナス諸隊ハ ロベコ Robecoニ向テ行進スヘシ

カステグイオ Casteggioヲ攻撃スルトキハバウムガルラン師團ハ豫備隊タルヘシ、必要ナル場合ニハ其一部ヲ以テ敵ノ側面及背面ニ於テ働作スヘシ、然レトモビルス旅團(歩兵四大隊騎兵一中隊火砲八門)ハ決シテ交戦スヘカラス

第三 少將ヘツセン親王ニ屬スル右翼縱隊(歩兵六大隊騎兵三中隊火砲十二門)ハ何レモ堅固ニ占領セサルヘカラサル ブレッサーナ Bressana 及 カステレット Castellettoヲ經テ ブラン・ドゥゾ Branzi Duizzoニ向テ行進スヘシ

ウルバン師團ノ攻撃ヲ行フ際ハ敵ノ側面及ヒ背面ニ對シテ戮力スヘシ

余ハ中部縱隊ニ駐在スヘシ

進行進序

二十日 ヴァカリッツァ Vaccarizzaニ在ル旅團ハ午前四時ヨリ五時三十分ノ間ニ出發セリ

左翼縱隊ニ在テハ七時頃 ヴェルヴァ Verva 及 バルビアーネロ Barbianoelloニ在ル前衛部隊ヨリ成リタル ストラダッラ Stradellaノ西 ブローニ Broniニ集合セリ、プラウム旅團ハ八時三十分頃進出シテ之ニ續行ス騎兵(二中隊)ハ第一旅團ノ後ロニ行進シ而シテ又タ十時頃 カステグイオ Casteggioヲ離ルニ吉羅米突ノ ヴェルヴァ Verateニ到着シ、命令ニ從ヒ停止シ、少時茲ニ在リタリ、既ニ到達セルヤ直チニ之ヲ報告シ、且ツ到着セル報告ニ由レハ敵カ薄弱ニ占領シタル カステグイオ Casteggioニ對シテ十一時頃前進スヘキ旨ヲ之ニ追記セリ

中央縱隊ニ在テハビルス旅團及總豫備隊ハ(兩團共其任務未タ定マラサルモノ、如シ未タ其指定地ニ全ク到達セサルカ故ニ軍團司令官ハ一般ノ前進ヲ正午十二時マテ遷延セリ

ウルバン將官ハ既ニ敵ノ占領セサル カステグイオ Casteggioニ到達シタリシトキ此訓令

ヲ受領セリ、唯武装シタル住民ヨリ二三發放射シタルノミ、西部ノ出口ニ對シテハ Piemontes 騎兵現出セリ途上縦隊ノ中央ヨリ抽出シタル Haller 驃騎兵ノ爲メニ擊退サレタリ

ウルバン將官ハ Voghera ニマテ連亘セル平地ヲ瞰制セル Genestrello ノ高地ノ戰術上最モ要害地タルヲ知レリ、故ニ直チニ此地ニ前進シ該地ヲ一大隊ト三中隊半及火砲二門ヲ以テ(塊地利)大隊ハ六中隊ヨリ成ル)占領セシメ、他ノ二大隊ハ鐵道線路ヲ進テ同高地ニ前進セシメタリ、一大隊ハ其後方殆ント Montebello ニ向フ道路上ニ陣地ヲ占メリ、此 Montebello ニ向テ又一大隊高地ヲ經テ派遣サレタリ然レトモ該隊ハ Genesello ヲ失フタル後チ漸ク目的地ニ達シタルモノナリ、縦隊ノ殘餘(一大隊ト二中隊半等)ハ Casteggio ニ位置ス

中部縦隊中ガール旅團ハ Casteggio 及ヒ Fogliarina ノ中間ニ到達スピルス旅團及總豫備隊ハ Robecco ニ占位シタルニモ拘ラス此旅團ハ Casatisma ニ一大

隊半及火砲四門ヲ止メタリキ

ヘッセン親王ハ通過シタル各局地ニ大約八乃至九中隊ヲ留メ Calcababbio ヲ經テ前進セリ、敵兵ニ就テハ Piemontes 騎兵ノ外毫モ認ムルモノナカリキ(騎兵ハ之ヲ使用セサリシナラン否ラサレハ Voghera 街道上 Madura ニ在ル佛ノ前哨二大隊ノ陣地ヲ Genestello ヲリ三千米突ノ所ニ知認セサルヘカラス)故ニ伯爵スタジランハ Vaccarizza ノ至難ナル行進ヲ熟視シ前進ノ企圖ヲ廢スヘク決定セリ、二時三十分頃與ヘタル命令ニ由レハガール旅團ハ Fogliarina 及ヒ Casteggio ニ位置セサルヘカラス其他右翼及ヒ中央縦隊ハ Branduzzo 若クハ Casatisma 及ヒ Robecco ニ露營シ敵ノ攻撃ヲ行フニ方テハガール及ヘッセン旅團ハウルバン師團ヲ援助セサルヘカラサリキ

Genestello ヲリ砲聲ノ轟キタルトキハ已ニ命令ヲ發シタル後チナリシ斯ノ如ク變更セル形勢ニ於テガール旅團ハ Casatisma ニ殘留セシメタル豫備隊ト

共ニ Montebelloニ向テ行進スヘキ命令ヲ得タリ、Genestrelloニ向テ直接ニ救援スルヲメ該旅團ハ唯タ一大隊ヲ鐵道線路ヲ取テ前進セシムヘキ命令ヲ受ク然レトモ又該大隊ハ旅團ト共ニ三時三十分頃 Montebelloニ到達ス時恰モ此地ヲ侵撃セル敵ニ對シテ固持スヘキ樞要ノ時ナリキ何故ニ此ノ如ク遷延セシヤハ明了ナラス

總豫備隊トビルス旅團トハ Casteggioニ向テ差遣サレタリ而シテ其地ノ守備兵一大隊及二中隊半ヲ其到達ノ後 Montebelloニマテ前進セシム

第一線ニハ唯佛ノ攻撃ニ對向シテ Genestrelloニ步兵一大隊三中隊半、火炮二門存立シ鐵道ニ接シテ二大隊占位ス

佛ノフラーレ師團ハ五月二十日肅然 Vogheraニ占陣シ二大隊ハ Genestrelloニ向テ Maduraニマテ前出セリ、敵ノ接近セル通報ニ由リ將官フラーレハ Vogheraニ在テ其ノ手下ニ在リタル兩大隊ト火炮二門トヲ以テ前進シ、而シテ

ノ殘兵ニ追従スヘキ命令ヲ下セリ、前出セル二大隊ト共ニ Maduraニ於テ相合シ第一ノ攻撃ヲ試ミタルモ擊退セラレタリ、新銳ナル七大隊ノ到着シタル後該將官ハ初メ退却シタル四大隊ニ二大隊ヲ以テ増加シ、三時頃第二ノ攻撃ヲ行ハシメタリ、Montebelloノ附近ニ在ル Iles 擲彈兵ヨリ援助サルヘキ塊ノ三大隊半ハ陣地ヲ撤シテ退却セサルヘカラサリキ

Montebelloニ在ル一大隊ハ少時前ニ到達シタル六大隊強ノガール旅團ニ由テ援助サレタリ、茲ニ於テ塊軍ハ Casteggioノ後方ニ退去シタル後 Montebello及鐵道ニ接シテ十大隊ヲ以テ佛ノ十一大隊ニ對シテ進行スルヲ得タリ

夕景六時三十分マテ繼續シタル Montebello附近ノ戰鬪ニ於テ Casteggioニ集合シタル九大隊ハ其内一大隊半ハ既ニ戰鬪中ナリ、五時三十分頃漸ク二中隊半ノミ進テ戰鬪ニ與リタリ、殘餘ハ Montebelloニテ敗レタル軍隊ノタメニ收容陣地ヲ占ムルヲ以テ満足セリ、若シ此後方ニ止メ置キタル戰兵ヲ戰

團ニ加列セシメタラシム。將ニ收容ヲ要セサリシナルヘシ
砲聲ノ轟然タル間ウルトハシ師團ニ戰闘ニ戮カスヘキ命令ヲ受ケタルニモ
拘ラス Branduzzoニ向テ行進シ而シテ技ニ炊爨ノ準備ヲナセル此右翼縱隊
ノ行爲ニ關シテハ其理由ヲ發見スルニ苦ム、特別ノ命令ニ由テ差遣セラレ
タル旅團ハ四時卅分頃 Orsone Di Lanzaニテ佛ノ左側面ノ背後ニ到達ス、而シ
テ其六大隊中唯三大隊ノミヲ使用シタリ、又該大隊ノ行爲ハ甚タ手緩クシ
テ敵ハ正面ノ戰闘ヨリ唯一大隊ヲ殺キテ之ニ當ラシメタルニ過キス之レ
ニ反シテ側面掩護ノ命ヲ受ケタル佛ノ此大隊ハ大ニ勇戰シ Vegheraヨリ來
ルヘキ一大隊半ト共ニヘツセン全旅團ノ突撃ヲ防支ス
佛軍ハ奪取シタル陣地ヲ超テ Montebelloヨリ追續セサリキ、 Casteggioニ墮兵
廿大隊集合シ其内七大隊ハ未タ戰闘ニ加ハラス新鮮ナリト雖トモ墮將伯
爵スタジランハ Vaccarizzaニ退却セント決シ夕景八時卅分頃夫レニ關スル

命令ヲ發セリ、其後報告スル所ニ由レハ佛ノフアラ一師團ノ十二大隊半ハ
決シテ八千人ニ達セサリシモ墮將ハ敵ハ少クモ四万人以上ノ兵力ナリト
想定シタルモノナリ
墮軍ニ在テハ十五大隊即チ一万二千人ノ兵ヲ以テ戰ヒタリ然レトモ其十
大隊ハ收容陣ニ留止サレタルヲ以テ其軍隊ノ勇敢奮闘セルニモ拘ハラズ
大ニ敗北シタリ墮軍ハ奮勵セル夜間行進ニ由テ二十一日ノ朝再ヒゴ。左岸
ニ達シタリ
墮兵ハ曩キニ其陣地ヲ發セシヨリ廿四時間連續行軍及ヒ戰闘シ茲ニ兵千
四百二十三人ヲ失ヒタリ其結果實ニ著大ナル損害タルニアラスヤ
猶ニ威力偵察ニ任シタル墮軍一万二千ハ僅カニ佛ノ一師團ヲ展開セシメ
タルニ過キス然レモ若シ最モ勇猛果敢ニ前進セシナラハ Vegheraノ近傍ニ
在リシ佛ノ三軍團ノ陣地ヲ檢知スルヲ得タルナルヘシ然リト雖トモ殆ン

ト三日行程遠隔シタル塊ノ本軍ニ於テ何ソ之ヲ利用スルヲ得ヘケンヤ若シ夫レ此ノ敵情ニ基キ運動ヲ行ハシ歟必ス三日ヲ經タランニハ敵ノ情況モ亦全ク變セサルヲ得サル可カラズ否ナ變更シ得ヘキモノナリ是故ニ威力偵察ハ結果ヲ直チニ利用スヘキ場合ニ於テノミ有益ナルモノナリ故ニ此種ノ企圖ハ戰役ノ引例ヲ論スルニ甚タ適切ナリトスヘシ

第三十七章

千八百十三年五月二十六日 ^{ハイナウ} Hainauノ伏兵

露普ノ軍隊ハ ^{リュツェン} Lützen(五月二日)及 ^{バウゼン} Bautzen(五月二十日及廿一日)ノ不利ナル本戰ノ後 ^{シュレスニ} Schlesienニ退却ヲ爲セリ普ノ本營ニ在テハ軍隊ノ精氣ヲ挫折スヘキ連續セル退却ニ就テ頗フル憂慮セシカ今ヤ ^{ハイナウ} Hainauニ到リ開豁ナル平地ニ出テタルヲ幸ヒ其優勢ナル騎兵ヲ以テ不注意ニ追躡セル佛軍ニ向テ伏兵

ヲ設ケテ佛兵ヲ敗リ以テ其軍ノ志氣ヲ壯ナラシメント企圖セリ(第四十八略圖參照)

其方略ハ即チ左ノ如シ

大佐ムチユースノ普國後衛步兵三大隊騎兵九中隊騎砲兵廿六門ハ ^{ハイナウ} Hainau

ヲ出テテ ^{リュツェン} Lützen街道ニ於テ強ク敵ニ抵抗スヘカラス敵ヲシテ成ル可ク遠

ク平地ニ前進セシメンコトヲ努メサル可ラス茲ニ大佐ムチユースヲシテ

眞ニ窘迫セシメサラシメンカタメ ^{ドベスハウ} Döbenschau及ヒ ^{ポヒスドルフ} Pohsdorf背後ニ於テ他ノ

軍隊ハ其收容ニ準備サレタリ

伏兵ハ之ヲ二箇所ニ設ク即 ^{ドフス} Dohesノ豫備騎兵ハ騎兵廿五中隊騎砲兵十六

門) ^{シュェレンドルフ} Schellendorfノ四所ニ在リ、チーレン旅團ノ騎兵(騎兵三中隊騎砲兵八門)

^{バウランズドルフ} Bauransdorfノ ^{ヴァンニヒル} Windmühlen山ノ背後ニ位置ス茲ニ存立セル風車ノ點火ハ同

時ニ突進スヘキトキノ目標タルヘシ然レトモ豫備騎兵カ同シ高サニ到達

シタルトキ初メテ風車ノ點火ヲ爲サ、ルヘカラサリキ
 此方路ニ由テ大佐ムチユースハ五月廿六日ノ早天 ハイナウ 通過シ市街ノ
 南 コンラツト Conradsdorf ト ミッセルスドルフ Michelsdorf ノ中間ニ占陣ス佛ノラウリストン軍團ハ彼レニ
 追躡セリ但シレグニール二師團ハ遙ニ南方ノ モデルスドルフ Modelsdorf ニ在テ シュネルレ Schnelle Deich
 河ヲ通過セサルヘカラサリキ
 佛軍ハ此日ハ常日ヨリモ最モ留意シテ追躡セリ午後二時頃初メテ先頭タ
 ルメーソン師團ノ内八大隊ハ火炮十八門ヲ以テ ミッセルスドルフ Michelsdorf ニ向テ前進ス此
 時殊サラ敵ニ見ユル様ニ大ニ錯驚シテ後衛ニ屬セル騎兵師團ヲ退却セシ
 メ而シテ所謂搜索兵タル騎卒五十人ノミ歩兵ヲ掩護シテ退却セシム大佐
 ムチユースハ歸還シ更ニ ドベレンハウ Doberschan ト ゴルスドルフ Gohlsdorf ノ中間ニ新位置ヲ占メ遠距
 離ニ於テ砲發セリ
 將官メーソンハ徐々ニ前進シ漸ク午後五時ト六時トノ間ニ ミッセルスドルフ Michelsdorf ヲ

騎兵ノ
完全ナルノ

通過ス茲ヲ離ル千二百米突ノ所ニ再ヒ停止セリ茲ニ於テレグニール師團
 ノ同時ノ前進ヲ待ツモノ、如シ而シテ其二大隊ヲ ミッセルスドルフ Michelsdorf ニ留ム各搜兵
 ハ風車ノ附近ニ三百歩ニマテ近接セリ此兵若シ高地ニマテ騎行シタラン
 ニハ普軍ハ大ニ失望シタリシナラン
 茲ニ停止セル將官チーテンハ敵ヲ成ルヘク近ク引キ寄セント欲シタリ然
 リト雖モ既ニ其左翼ニハレグニール前衛近接セルヲ見テ彼ハ大佐ドルフ
 スニ攻撃ヲ行フヘキ命令ヲ達シタリドルフス大佐ハ騎兵十中隊ヲ第一戰
 線ニ其五中隊ヲ第二戰線ニ備ヘ充分疾驅シテ四羅米突隔離シタル敵ニ對
 シ運動ヲ爲セリ蓋シ殘餘ノ騎兵十中隊砲兵二中隊ト共ニ之ニ續行ス然レ
 トモ或ル場合ニハレグニールノ前衛ニ對進スヘク定メラレタリ
 ドルフスノ騎兵殆ント バウナンストルフ Baudannstorf ノ高地ニ到達シタリシトキ將官チー
 テンハ其騎砲兵中隊ヲ突進セシメ準備シタル風車ヲ點火セシメタリ今ヤ

豫備騎兵タルムチタースノ騎兵九中隊及ヒチーレンノ騎兵三中隊ハ疾驅
敵ニ向テ襲撃ス、駈歩ヲ以テ前進セル砲兵(ラーレン砲兵一中隊及ムチユー
スノ砲兵二中隊)ハ警騒セル敵ニ對シ有効ナル霰彈若干發ヲ放チ以テ紛亂
セシムルヲ得タリ

將官メーソンハ沙塵ノ揚起セルト風車ノ點火セルトニ就テ頗ル疑念ヲ懷
キ命ヲ下シテ速カニ方陣ヲ編成セシム然レモ普ノ騎兵ハ唯タ右翼大隊ノ
ミ漸ク方陣ヲ編成シタルトキ既ニ迫襲セリ、大佐ドルフスハ第一戰線ヲ以
テ敵ノ右翼ヲ襲撃ス此時我レノ左翼ハ沼地ニ落込ミテ大ニ苦難セリ、第二
戰線ハ逃走兵ヲ背後ヨリ襲撃センカタメ直チニ左方 Michelsdorf 附近ニ轉進
ス又之ト同時ニムチユースノ騎兵ハ敵ノ左翼ニ突進セリ、數多ノ大隊直ニ
潰亂セラレ凡テ周章遁逃シテ Michelsdorf に向テ退避セリ、逃走兵ノ大半ハ咸
ク斬殺セラレ敵ノ砲兵ハ漸ク其火炮ノ一部ヲ救助スルヲ得タルニ過キス

騎兵

各騎兵群並ニドルフスノ第二線兵ハ佛兵ノ充滿セル諸多ノ家屋ヨリ激烈
ナル射撃ヲ蒙リタリト雖トモ Michelsdorf ヲ突貫シテ進行セリ

戰鬪ノ經過ハ僅々二三分時ニ過キヌシテ乃チ騎兵二十七中隊ノ内漸ク八
中隊ハ全ク侵撃ニ參與シ得ザリシカ如ク實ニ迅速ニ終結セリ

佛軍ノ高級將校三名其他ノモノ數名兵士四百人捕虜トナレリ其死傷モ亦
殆ント之レト同數ニシテ普軍ハ唯合計將校二十一名兵士二百二十九名ヲ
失フニ過キス其他普ノ騎兵ハ火炮十一門ヲ掠取シタリ

是等有形上ノ結果ノミナラス志氣上ノ利益ハ實ニ尠少ニ非ラサルナリ、於
是乎益々我軍ノ恃頼心ヲ強固ナラシメ敵ヲシテ我ヲ敬畏セシメタリ
敵ハ其後冒進スルコトヲ止メ注意周密ニ追躡セリ

第三十八章

千八百七十七年六月露軍ノDonau河通過

左ノ一章ハ奥國新兵專報千八百七十七年ストレルンフルール著書第三卷ノ
 論說中ヨリ摘録シタリ蓋シ此記事ハ露國高等司令官大公爵ニコラウス親
 王ヨリ六月二十七日マテノ作戰ニ關シ皇帝陛下ニ呈シタル報告ニ基キシ
 モノニシテ露ノ企圖及作戰計畫ニ關シテハ其說明モ亦充分確實ナリ(第四
 十九略圖參照)

四月二十四日露軍ハ四軍團ヲ率ヒKannienノ國境ヲ越エタリ其各軍團ハ
 歩兵二師團及騎兵一師團ヨリ成ル歩兵師團ハ歩兵二旅團及ヒ砲兵一旅團
 即チ歩兵一萬七千八百人火炮四十八門ヨリ編成ス騎兵師團ハ騎兵十八中
 隊及騎砲兵二中隊即チ二千七百頭火炮十二門ヨリ成レリ
 尙ホ軍團附屬諸隊ノ外他ニ軍ニ直轄スルモノ左ノ如シ
 第四散兵旅團(四大隊)

輕騎兵十三聯隊

騎砲兵七中隊(各々火炮六門ヲ備フ)

山砲兵二中隊

總計一割ノ減少ニ由レハ

歩兵十三萬人騎兵二萬人火炮四百八十六門ナリ

戰略的展開ハDonau河ノ主部渡過點ニ關ス此渡過點ハ千八百二十八年ノ
 如クGalatzノ下方ニ定ムルヲ得サリヤ何ントナレハ狹隘ナルDobrudschaハ
 能ク三萬人ノ千八百二十八年ノ本軍通過ヲ完フスルヲ得ルモ其五倍ノ兵
 カナル軍隊ヲ通過セシムルニハ其地狹隘且ツ物資不足スルヲ以テナリ其
 他當時ハ露國ノ戰艦黑海及Donau下流ヲ制シタモ此度ハ土耳其ノ軍艦之
 ヲ制シタルカ如ク大ニ諸多ノ關係ヲ異ニセリ
 是故ニ渡過點ハ遙カニDonau河ノ上流ニ定メタルヘカラス而シテ本軍カ

後ニ行ヒタル Bukarest 附近ノ開道ヨリ之ヲ推定セハ豫メ Silistria 及 Nikopoli 地方ヲ希望シタルモノナリ
 一軌條ノ効力少ナキ鐵道ヲ以テハ唯タ歩兵一師團及騎兵一師團ノミヲ運搬セリ凡テ他ノ軍隊ハ徒歩ニテ行進ス今ヤ鐵道ハ糧食諸種軍用品及船舶等ヲ送致シ又ハ重火砲ヲ河岸砲臺ニ運搬スル用ニ供セリ騎兵ハ軍隊ヨリモ先キニ出發シ四十八時間内ニ(五月十九日ヨリ二十一日マテ) Jalonica ヲ Purnu 及ヒ Magurati 至ル三百四十吉羅米突(四十五哩)ノ長サナル Dobru 地方ヲ占ムルヲ得タリ
 凡テ緊要ナル河岸地點ヲ占領シ若シ間諜アレハ一擊ヲ以テ其跡ヲ斷タサルヘカテサリキ
 此要點ノ守備ニ定メラレタル軍隊ハ其後ロニ位置セル本軍ノ編成中ニハ加算シ得サル覺悟ヲ以テ之ヲ編成シタルモノ、如シ何トナレハ延長セル

Silistria 及 Otenitza 線ハ唯タ第十一軍團ノ一部之レヲ占メ之レニ軍團編成ノ外ニ在ル Kosaken 輕騎兵加列シ又タ最モ外方ノ右翼即チ Purnu 及ヒ Magurati ニハ騎兵第八師團位置シ所屬第八軍團ハ其背後ニ在ラサリシヲ以テナリ
 第一騎兵線ヲ援助スルタメ五月二十一日及二十五日ノ間ニ其背後ニ豫備兵到着ス、軍ノ首部歩兵五師團半及騎兵一師團ハ六月一日マテニ Bukarest 附近ノ地ニ達セリ、又此時ニ至ルマテハ Silistria ノ方ニ向ヒタル軍隊(歩兵一師團及騎兵一師團)ノ運搬未タ完結セサリキ、軍ノ本營ハ鐵道ニ接シ Bukarest ノ北方 Projesht に向テ行進ス
 軍ノ集合セルニ由リ敵ハ渡過點ヲ撰定シテ二百十吉羅米突連亘セル(廿八哩) Silistria ヲリ Nikopoli ニ至ル局地ヲ占領セリ、東方或ハ西方ノ各運動ハ其詳細ナル目的ヲ漏洩スヘキカ故ニ露軍ニ在テハ諸新聞ノ報告者ヲ嚴肅ニ監視シ以テ七月廿日マテノ時期ニ關シテハ毫モ公示セシメサリキ、亦大公爵

ノ情報モ此時期ニ關シテハ全ク知ル所ナカラシム然リト雖モ軍カ Bukarest
 附近ノ陣地ニ在テ Donau 河ノ出水能ク渡渉ニ適スヘキ時機ヲ待チタルハ
 諸徴候ニ由テ之ヲ知ラシム然ルニ出水ハ既ニ五月末ヲ經過シタルモ尙ホ
 依然トシテ六月半ハ以後ニヤテ亘レリ、
 此時限ハ準備ヲ成スニ最モ好機ナリキ、而シテ橋梁築造ニ要スヘキ材料即
 ナ木製船橋筏等ハ Sibiu ニテ製造シ、又船橋ノ一部ハ Galatz ニテ製造シ鐵道
 ヲ以テ Sibiu ニ運送セリ、全材料ハ此地ヨリ Olt 河ヲ經テ Donau 河ニ出シ、下
 リテ Nikopol 築城ノ近傍ヲ過キ、此地ノ下方ナル渡過點ニ選定シタル Hannu-
 nda 地點ニ筏ニテ流下セサルヘカラサリキ、此渡過地ニ關シテハ大公爵ノ
 報告ニ由レハ、橋梁材料ヲ運搬スヘキ此線路ノ選定ハ不良ナラサリシモノ
 ノ如シ何ントナレハ之ニ次キ筏ヲ浮フヘキモノハ Arge 河ナルヲ以テ之ヲ
 利用セハ堅牢ナル要塞 Rutschku 下ヲ通過シ殊ニ材料ヲ逆流ニ曳キ上ケサ

ルヘカラサレハナリ
 然レトモ此架橋材料大量ノ運搬ヲ毫モ敵ヨリ注視サル、ゴナク Nikopoli
 ヲ經過シテ之ヲ完フヌルヲ得タリトスルヲ得サルナリ
 故ニ軍隊ノ攻撃シツ、爲サ、ルヘカラサル第一通過ニハ四橋梁輻重(各々
 船橋五十六宛ヲ使用スルコト、定ム此輻重ハ直ニ規定時間前ニ鐵道ヲ以
 テ Baraso (Bukarest) ト Gurgewo トノ間ニ向テ運搬シ而シテ後チ車ニテ渡過地
 ニ運搬セサルヘカラサリキ
 其他ノ準備ハ橋梁架設地ニ撰定シタル Donau 河ノ局地ヲ土耳其古ノ艦体ニ
 對シテ閉鎖スルニ在リ此軍艦ハ(ストウクラー)ト著書ニ由レハ元來重火炮
 ヲ備フル軍艦十九隻ナリ) Bala ニ在テ水雷若クハ河岸砲臺ノ射撃ノタメ
 ニ其二隻ヲ沈没サレタル後 Donau ノ河流ヨリ漸々進行シ來リタリ露軍ニ
 在テハ水雷ヲ設備スルタメ解脱自在ナル小蒸氣船十隻ヲ利用セリ、此小蒸

汽船ハ鐵道及車ヲ以テ Rutschnick 要塞ノ下部ニマテ運搬シ而シテ Doran 河ニ浮ハタルモノナリ第一閉塞ハ六月二十日此要塞ノ上部 Parapan ニ設ク土耳古軍ハ直チニ之ヲ注視シ銃火ヲ以テ右岸ヨリ我小蒸氣ヲ亂射シ而シテ Monitor 艦モ前進シテ霰彈射撃ヲ行ヒタルカ故ニ作業甚タ至難ナリシ此作業ヲ掩護スル露ノ指揮官ハ猛烈船ヲ進メテ敵ノ船艦ニ逼迫シテ水雷ヲ投シタリシモ曳火線彈丸ノ爲メニ破壊サレタルカ故ニ全ク爆發セサリキ然レトモ土耳其砲艦ハ此近傍ヨリ隔離センカタメ竟ニ退却ス茲ニ於テ乎作業ヲ無難ニ完成スルヲ得タリキ

其後四日ヲ經タル後チ第二壅塞ヲ Nikopoli ノ上部 Karabia ニ設備ス敵ハ其工事ノ殆ント完成セルトキ初メテ之ヲ知レリ斯ノ如ク壅塞ヲ設備シ Parapan ヨリ Karabia ニ到ル百廿八吉羅米突延長セル局地内ニ在テハ敵兵ヲシテ其水上ノ計畫ヲ斷念ゼシメタリ唯タ Nikoloi ニ尙ホ Monitor 艦ニ隻停止シタル

ノミ蓋シ此軍艦ハ他ニ轉航スルヲ得サリシモノナリ而シテ該艦ハ翌六月二十五日 Nikopoli ノ下方四吉羅米突ヲ距ル Flamunda ニ在テ行フ渡過ヲシテ甚タ危殆ナラシムルヲ得^{*}故ニ此戰艦ノ動作其宜キヲ得ハ露軍渡過ノ計畫ハ果シテ實行スルヲ得タリシヤ否ヤ甚タ疑フ所トス何ントナレハ兵力六千五百人ノ要塞守備兵ハ此戰艦ト協力シテ其砲兵ヲ以テ初メ渡過セル軍隊ヲ容易ク擊退スルヲ得タレハナリ

^{*}千八百八十年陸軍兵事週報第二十七號ノ記事ニ由レハ此兩甲鐵艦ハ二十七日ノ夜 Flamunda ニ設ケタル閉塞ノタメニ露軍ニ危害ヲ加フル能ハサリシト云フ

五月十九日及二十一日ノ間ニ已ニ陸續行進シ且ツ一軍團ノ兵力ヲ更ニ増加シタル露ノ本軍ハ運動ヲ初メ而シテ與ヘラレタル行進命令ヲ實行シ由テ以テ二十五日ニ一日行程内ニ Flamunda 附近ニ歩兵六師團及騎兵二師團

ヲ集合シ ^{チムニシツ} Zimniza 附近ニハ同シ範圍内ニ步兵二師團騎兵一師團ヲ集屯セシメタリ

然レトモ鐵道運搬ノ遷延シタルタメ渡過地ニ接シテ船橋輜重ノ精確ナル準備ヲ爲ス能ハサリシハ前ノ進軍間ニ於テ既ニ明カナリシカ故ニ六月二十三日ニ軍ノ運動ハ ^{ヴェゲ} Vége 河ニ接シテ少時停止サレタルナリ

若シ敵カ此ノ如キ露軍ノ企圖ノ阻止ヲ利用シテ既ニ露軍ノ西方ノ開進ニ由テ推知シタル方向ニ其兵力ヲ集中シタランニハ露軍ノ爲メニハ一大事タリシナルヘシ

大公爵ニコラウスハ乃チ自ラ ^{ドナウ} Dona 地方 (^{チムニシツ} Zimniza ヨリ ^{フランドル} Flannuda ニ至ル)ノ偵察ニ赴キ而シテ水層減却シテ戰術上最モ良好ナル渡過地ハ ^{チムニシツ} Zimniza ノ地タルヲ判定シタリ故ニニコラウスハ直ニ茲ニ渡行ヲ實施セント決定セリ、水流ハ其通常ノ水勢ニ復セリ河ノ幅員千四百米突ナリトス、六月中旬マテ

ハ ^{ルメン} Rummenien ノ河邊上ニ尙ホ八百米突ヲ漲溢セリ ^{ジスタ} Zista ノ傍ヲ南方ノ河岸ハ峻險ニシテ破崩シ易ク通過不便ナリ、小川ノ河口ノ東部ハ高地微カ平坦ニシテ適切ナル上陸地ヲ形成ス、守者ハ ^{ニコポリ} Nikopoli ヨリ ^{ジスタ} Zistova ニマテ二日行程ヲ有シ ^{クルシュク} Kruschuk ヨリハ二日行程半ヲ保ツ故ニ露軍ニ在テハ其到達セサル前ニ優勢ノ軍隊ヲシテ土耳其軍ノ河邊ニ渡渉セシムルタメ時間充分ナリシナリ

此變更シタル計畫ハ唯タ第一渡過隊ニ定メラレタル一師團半ノ司令官ニ知ラセタルノミ、該師團ハ二十六日船橋輜重ト共ニ ^{チムニシツ} Zimniza 附近ノ ^{ドナウ} Donau 河邊ニ到達シ、二十七日ノ夜間ニ渡過セサルヘカラサリキ、然ルニ他ノ諸軍隊ハ未タ尙ホ ^{フランドル} Flannuda ニ於テ渡過スヘキモノト思考セリ故ニ二軍團ハ其地ニ向テ行進ス、本軍ニ在リタル皇帝モ亦同シ目的ヲ以テ ^{ルン} Lunu ニ向テ行進セリ

土耳其軍ノ吾主要ノ計畫ヲ注目センコトヲ避ケンカタメ諸所ニ示威運動ヲ行ヒ而シテ又 ^{ガラツツ} Galatz 及ヒ ^{ブライウ} Braia ニ於テ岡シク ^{ドブルヂスチャ} Dobrudscha ノ渡過ヲ着手シタリ此地ノ渡過ハ唯タ陽動ノミナラス又北方ニ延亘セル地方ヲ占領シ以テ後方ノ連絡ヲ危殆ナラシメント欲シタルナリ此計畫ハ主部渡過ニ於ケル敵ノ注意ヲ轉セシメンカ爲メ其前ニ行ハサルヘカラサリキ、此副渡行實施ハ將官ケンメルマンニ委テ後續セル第十四軍團ヲシテ之ヲ援助セシム ^{ガラツツ} Galatz ニ達シタル第十一軍團ハ ^{オレンニツツ} Olenitza 及ヒ ^{キウレウ} Gurgevo ニ向テ行進ス、而シテ海ニ對シ及ヒ ^{マチン} Matschin 灣ニ對シ水雷ヲ以テ渡過點ヲ閉塞スルヲ得タル後六月二十二日ノ夜渡過ヲ實行セリ是等ノ事タルヤ實ニ錯誤セルモノニシテ茲ニ詳カニ說示スルノ要アラサルヘシ、六月二十七日マテニ將官ケンメルマンハ其兵三万五千人ヲ率ヒテ既ニ ^{ロソフ} RISSWA ノ地ニ達セリ ^{シリスチヤ} Silistria 及ヒ ^{ルースチン} Ruzschuk 間ノ中央ナル ^{オレンニツツ} Olenitza ハ千八百五十三年ノ露軍ハ陽動

ノ目的ヲ以テ渡過點トシテ既ニ撰定シタリ此度モ亦タ故カラツツノ第十一軍團ノ一部ハ茲ニ砲臺ヲ築設シ其對岸ヲ砲撃セリ ^{ルースチン} Ruzschuk 要塞ニ對シテハ重 ^{クフッ} Kupp 加農二十八門ヲ砲臺ニ備エ二十四日及ヒ二十五日ニ市街及ヒ要塞ヲ激烈ニ射撃セリ同シク ^{ミコポリ} Mikopoli ニ於テモ二十五日ノ夕景ヨリ砲撃ヲ始メ市街ハ悉ク燃燒シ初ム最モ外端ノ右翼ニハ ^{ルメニエ} Rumener ノ兩軍團集合シテ ^{ウイディン} Widin ニ對峙シ要塞ニ對シテ最モ活潑ナル砲撃ヲ續行セリ是等諸多ノ陽動ハ本攻ニ果シテ利益ヲ與ヘシヤ否ヤハ茲ニ確定スルコト至難ナリトス實ニ露軍ハ二十七日ノ夜 ^{チムニツツ} Timitza ニ於テ行ヒタル渡過ニ在テハ唯些少ノ抵抗ヲ蒙リタルニ過キス、今ヤ渡過ハ左ノ方法ヲ以テ爲シタルナリ最初渡行スヘキ梯隊ハ歩兵十二

中隊、山砲兵一中隊即兵三千人ヨリ成レリ、正二時陸地ヲ發ス其援助トシテ六斤砲ノ砲兵五中隊河岸上ニ放列ヲ布ク、時ニ暴風起リ舟筏ヲ分散ス而シテ其最前方ノ船舟未タ ^{ブルガリア} Bulgaria 國ノ河岸ニ到達セサル前小川ノ河口ニ於テ土耳其軍ノ前哨中隊ノ注觀スル所トナリ之ヨリ烈シキ小銃射撃ヲ蒙ムリ同時ニ ^{ブルガリア} Bulgaria 國ノ河岸ニ在テハ警報ヲ傳エリ之ニ拘ラス第一梯隊ハ二時四十五分頃上陸シ三地點ヲ占領セリ渡過間ノ損害ハ實ニ些少ニアラサリキ其他又山砲二門將校數名ヲ搭載セル船橋一隻沈沒ス

拂曉土耳其ノ砲兵ハ乘船點ニ向テ射撃ヲ初メ至大ナル損害ヲ生起セシメリ、之レニ關セス益々渡過ヲ續行ス土耳其軍ハ強硬之ニ抵抗セシカ露ノ山砲兵戰團ニ加ハリタルカ爲メ午前五時頃上陸地ノ包圍ヲ撤去セリ茲ニ於テカ危急ノ極點ヲ凌クヲ得然レトモ戰團ヲ終結シタルニアラス土耳其軍

ニ在テハ午前十時頃露ノ一師團半 ^{ブルガリア} Bulgaria 國ノ河岸ニ集合シタル後モ尙ホ屈撓スルナク強硬戰鬪ヲ續行セリ、^{セキヤ} Sefwa ハ午後三時頃略取ツレ爰ニ於テ乎初メテ土耳其軍ハ退却ヲ爲セリ

此間 ^{チニツタ} Zimniza ニ進行シタル他ノ露國軍隊ノ中夜九時マテニ漸ク一師團渡過シタルノミナリキ

露ノ損傷ハ將校二十六人卒六百六十人ヲ失フ其他將校二名兵士十五名溺死シ船舟五隻火砲二門沈沒ス

何時迄ニ橋梁ヲ架設シタルヤ諸說交々何レヲ眞トスヘキヲ保ス可ラス一説(ストウツクラード)ニ由レハ第一橋梁ハ既ニ廿八日ノ夜ニ架設シ廿九日ニ之ヲ利用シタル者ナリ然レモ卅日ノ夜再ヒ暴風ノ爲ニ破壊セラレ其後天氣不良更ニ作業スルノ日ナク初メテ七月二日ニ再ヒ新橋梁ヲ架設シタルナリ又他ノ報告(リュストウ)ニ由レハ暴風ハ橋梁架設中ニ起リタルモノ

ナリ而シテ塊地利兵事新誌ハ七月三日ニ初テ架橋ヲ完成セリト記載セリト雖トモリユストウノ報告ニ由テ之ヲ觀レハ七月二日迄ニ完成セルモノノ如シ莫大ノ橋梁材料ハ殆ント敵ノ注視ヲ免レ又毫モ損害ヲ蒙ラス三日ノ夜中 ^{ニコポリ} Nikopolノ城下ヲ過キテ送致スルヲ得タリ

軍隊ノ渡過ハ間斷ナク施行セシカ土耳其軍ハ毫モ攻撃ヲ行ハス露軍ノ南岸ニ集合スルヲ防止セサリキ

此ノ如キ至幸ナル渡過ヲ施行シ得タル所以ノモノハ土軍ハ敵ノ企圖ヲ妨礙スルタメ出來得可キ限リ努力スル最緊要ナルニモ係ラス之ヲ施行セザリシニ土耳其ノ本營ニ於テ露軍ニ關シテナシタル判斷并ニ之ニ應スヘキ部署ヲ推知スルニ毫モ確實ナルモノアラサルナリ從テ軍隊兵力及其區分ノ説明ト雖トモ甚タ不明ナル所少カラス故ニ左ニ說示スル所ノモノモ亦殆ント想像說ニ過キサレヘカラサルナリ

^{ドナウ} Donau 河ハ ^{ウィッディン} Widdinヨリ下方ノ全長ニ於テハ平均廣サ千米突乃至千二百米突ノ甚タ著大ナル障礙物ヲ形成ス此廣漠ナル局地ノ河岸ハ沼地多クシテ爲メニ適當ナル渡過地ハ大ニ制限セラレタリ且其良好ナル地點ニハ右岸ニ設ケタル土耳其ノ築城ニ由テ之ヲ閉鎖シタリ然レトモ ^{ウィッディン} Widdinヨリ河口ニ至ル八百廿五吉羅米突(百十哩)ノ ^{ドナウ} Donau 河ノ延長ニ在テハ築城ヲ以テ閉鎖セサル數多ノ良好ナル渡過點アリ盡ク之ヲ占領セハ守兵ヲ分散セシムルノ不利アリ

然レトモ後ニ露ノ本隊ノ ^{ブイカレスト} Buzkalesht附近ノ集合ニ由テ眞ノ主部渡過地ノ區域元ヨリ狹隘ナリシトキニ於テヌラモ其地方ハ未タ頗フル廣豁ニシテ(二百廿五吉羅米突即チ卅哩)防禦者ハ第一上陸ノ短時間内ニ優勢ヲ以テ之ニ抵抗スルヲ得ルカタメ數千ノ兵士ヲ諸所ニ散附スルヲ得サリシナリ又至大ナル兵員ヲ配分スルト雖トモ此ノ如キ上陸ハ安全ニ防止スルヲ得サルモ

ノトス、故ニ土耳其軍ニ在テハ敵ノ橋梁ヲ架設シ或ハ其主力ノ渡過ヲ完フ
スルヲ得ルニ至リタル前ニ集合セル兵力ヲ以テ攻撃セサルヘカラサリシ
ナリ

今吾人カ埃國兵事新誌ノ論述セル六月中旬ニ生シタル土耳其軍隊區分ヲ
最モ確實ノモノトシテ認メタランニハ即チ左ノ如シ

- Widdin ウイディン ニ於テ 兵三万四千人
 - Rustschuk ルシュク 附近ニ 兵三万五千人
 - Adana アダナ 附近ニ 兵二万五千人
 - Yarna ヤルナ 附近ニ 兵一万三千人
 - Schamla シャムラ 附近ニ 兵五万人
 - Dobrudscha ドブルドツァ ニ於テ 兵一万八千人
- 四邊形内ニ兵
十二万三千人

其半數ヲ要塞守備兵トシテ計算セハ四邊形内ノ軍隊中六万人ハ野戰ニ列

スルヲ得ルナリ之ニ毫モ其地ニ於テ必要ナラサリシ ウイディンノ兵一万五千
人ヲ追加シタランニハ總數七万五千人ナリ、實ニ露國ノ優勢ニ對シテハ僅
々ナルヘシ然レトモ唯タ敵軍ノ一部ヲ攻撃スルタメ之ヲ利用センニハ最
モ至重至要ナリトス

此計畫ヲ實行セント欲セハ露國本軍ノ運動ヲ能ク監視シ而シテ之ニ續行
スルニ在リ若シ夫レ ルシュク 附近ニ於テ露軍ニ對立スル土耳其軍ハ露軍
ノ西方ニ向フヘキ開進ハ ヴェド 河ニ停止セルハ易ク之ヲ認知スルヲ得ル理
ナリ、而シテ露軍ト同シク西方ニ向テ運動スルヲ得タルナリ、二十日、二十四
日ニ行ヒタル ドナウ 河閉塞ハ何レモ土軍ノ注視スル所ニシテ渡過點ハ
パラパン Parapanノ上部タリシヤ甚タ明了ナリ此徵候ニ基キ ルシュク Kuschukヨリ西方ニ行
進シタランニハ土軍ハ其實況ニ由テ露軍ノ渡過シタル部分ヲ初メ三十六
時間内ニ優勢ノ兵力ヲ以テ攻撃シ得タルナラン

戰
史
例
證
終

明治三十二年七月十一日印刷
明治三十二年七月十四日發行

陸軍士官學校翻譯

發行者 齋藤戒三

東京市麴町區飯田町二丁目五十二番地

印刷者 三島良忠

東京市京橋區新肴町十五、十六番地

印刷所 元眞社

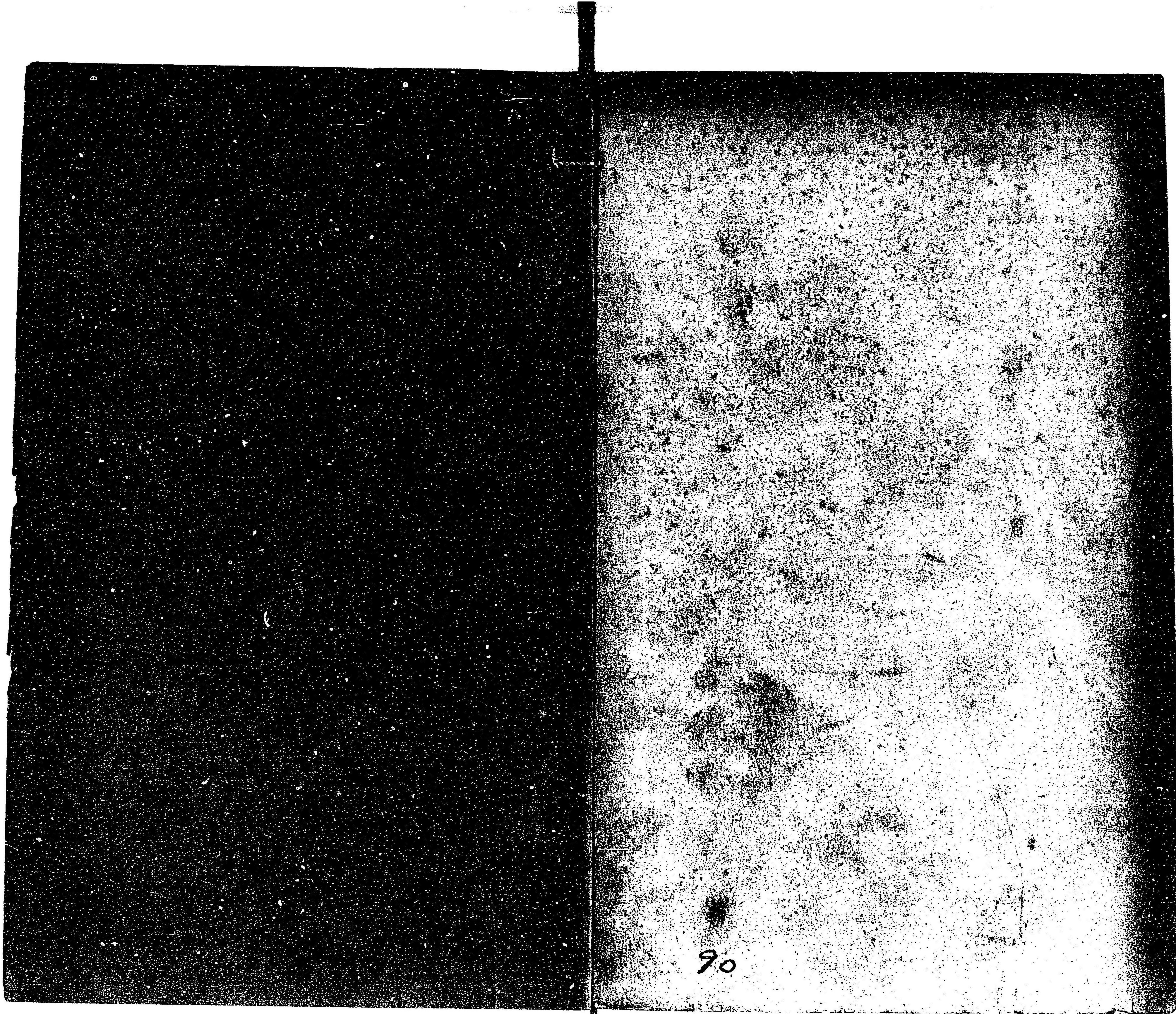
東京市京橋區新肴町十五、十六番地

發行所 楷行社

東京市麴町區飯田町二丁目五十二番地

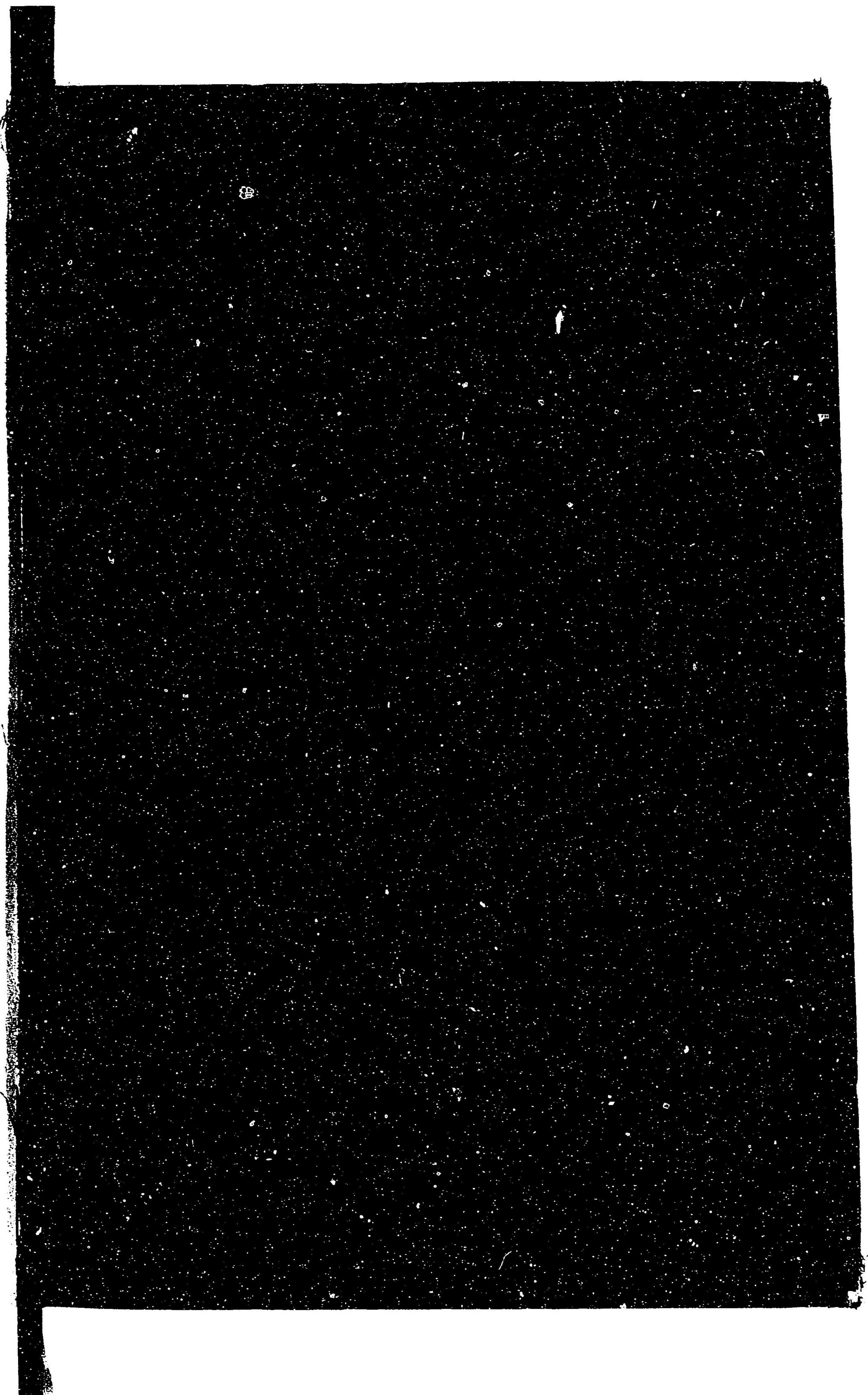
25
2
17

[Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page]



90

83
2
17



051899-001-5

85-17

戦史例証

フォールベック / 著

M32

BFB-0792



